

令和 7 年度 武蔵野市

MUSASHINO CITY

中学生議会 会議録

令和 7 年 8 月 17 日



令和 7 年度 武蔵野市

MUSASHINO CITY

中学生議会 会議録

令和 7 年 8 月 17 日





令和 7 年度 武蔵野市中学生議会 会議録 目次

1 実施要領	1
2 参加者名簿	2
3 日程表	3
4 議事日程	4
5 席次表	5
6 会議録	6
(1) 第三中学校	10
(2) 第一中学校	15
(3) 第六中学校	19
(4) 第四中学校	23
(5) 第五中学校	28
(6) 第二中学校	34
7 当日発表資料	40
8 アンケート結果	54
9 その他写真	57

議長あいさつ

議長 木崎 剛

皆さんこんにちは。第1回武蔵野市中学生議会をこれから開催させていただきます。本当に皆様、ようこそおいでいただきましてありがとうございます。

去年は、子ども議会ということで同様の形でさせていただいたのですが、中学生の皆さんが来ていただいているのに子どもという表現はどうなのだというのが、議会の中で話があり、今回から中学生議会というふうに名称を変えたということで、第1回中学生議会という形にさせていただいております。

そしてまず、各公立の一中から六中までの中学校から多くの中学生議員の皆さんに御参加をいただきまして、本当にありがとうございます。議会を代表いたしまして、心より感謝を申し上げます。

なお、今日は小美濃市長にも御出席をいただきましたし、この間、一緒に御協力をいただきました吉原教育長をはじめとする教育委員会の皆様、そして、各中学校の校長先生をはじめとする学校関係者の皆様にも大変御協力をいただきまして、ありがとうございます。

私ども議会といたしましても、これまで様々な形で、広聴という形を取りながら、いろいろな市民の皆様からの御意見を聴いたり、様々なことをしておりますが、昨年から中学生、いわゆる未成年という形ではありますけれども、武蔵野市の一員をなしている中学生からも意見を聴いてみたい、私たちとは目線の違うところでの話を聞いてみたい、ぜひとも交流をして、いろいろな武蔵野市のためになるような建設的な議論ができればということで、この中学生議会を開催させていただいております。

ぜひとも今日は、先ほども申し上げましたとおり、私たちとは目線の違う形で、これまで様々な形でいろいろなことを考えていらっしゃる中学生議員の皆様から、武蔵野市の課題や、これを変えたらよくなるのではないかなというような御提案をいただきながら、私ども議会のほうからも御回答させていただきながら、さらに武蔵野市がよくなるような形で議論が進められればと思っております。どうか最後までお付き合いをいただきますことをお願い申し上げます。

そして、今日御提案をいただいたり指摘をいただいたことが、この先、もしかすると、皆様が最初に言ったことで市の中で変わっていくかもしれないし、その提案を、市長をはじめ市の行政の皆さんが、これはいい提案だということで取り入れていただけるかもしれません。ぜひとも、これまで3か月、皆様方と議論をさせていただき、皆様方も中学生として様々な中でも議論をしてきたことを、楽しんで、そして堂々と、また、自信を持って発表して議論していただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、最後までお付き合いいただきますようお願いを申し上げまして、主催者の代表であります議長の御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。



令和 7 年度 武蔵野市中学生議会 実施要領

1 目的

次世代を担う中学生たちに地方行政や地方議会を理解してもらい、中学生たちが考える意見を市政などに反映すること。

2 開催日時・場所

令和 7 年 8 月 17 日（日曜日） 午後 2 時から 4 時まで
武蔵野市役所 7 階 武蔵野市本会議場

3 参加者

市立中学校 6 校の生徒 15 人、市議会議員 23 人、市長、教育長

4 当日までのスケジュール

日付	時間	場所	内容
令和 7 年 5 月 28 日 (水曜日)	午後 4 時から 6 時まで	議会委員会室	第 1 回ミーティング ○議会運営委員会委員の自己紹介 ○中学生議会の趣旨説明 ○Gikai クイズ ○中学生議員の自己紹介 ○グループワーク 学校ごとに発表テーマの検討 他校との意見交換
令和 7 年 7 月 9 日 (水曜日)			第 2 回ミーティング ○グループワーク 学校ごとに発表テーマ決定 発表資料作成

5 当日の日程

① 開会挨拶（議長）→ ② 中学生議会開会（議長）→ ③ 来賓挨拶（市長及び教育長）
→ ④ 一般質問（学校ごと）→ ⑤ 答弁（議員）→ ⑥ 中学生議会閉会（議長）
→ ⑦ 閉会挨拶（副議長）→ ⑧ 記念撮影

6 その他

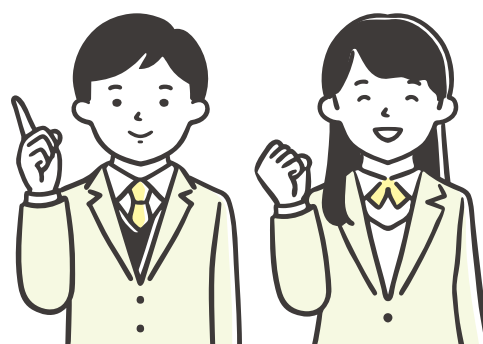
中学生議会の企画運営は議会運営委員会委員（川名ゆうじ、宮代一利、東山あきお、落合勝利、藪原太郎、与座武、橋本しげき、山本ひとみ）により実施し、中学生議会当日の答弁も行った。

また、市教育委員会及び市立中学校校長会の協力をいただいた。



令和 7 年度 武蔵野市中学生議会 参加者名簿

学 校	学年クラス	氏名	ふりがな
武蔵野市立第一中学校	2 年 B 組	新 井 純	あらい じゅん
	2 年 B 組	石 川 樺 音	いしかわ かのん
	2 年 B 組	松 本 龍 乃 丞	まつもと りゅうのすけ
武蔵野市立第二中学校	3 年 A 組	後 藤 可 也 子	ごとう かやこ
	3 年 D 組	高 橋 奏 多	たかはし そうた
武蔵野市立第三中学校	2 年 1 組	川 端 陽 日 留	かわばた ひかる
	2 年 3 組	深 田 紗 帆	ふかた さほ
武蔵野市立第四中学校	2 年 4 組	佐 藤 恒 慈	さとう こうじ
	3 年 1 組	蝦 名 航 太 朗	えびな こうたろう
武蔵野市立第五中学校	2 年 B 組	福 田 惟 仁	ふくだ ゆいと
	2 年 C 組	石 井 秀 明	いしい ひであき
武蔵野市立第六中学校	3 年 A 組	梶 山 琥 雅	かじやま こうが
	3 年 A 組	佐 藤 佳 穂	さとう かほ
	3 年 B 組	足 立 帆 乃 香	あだち ほのか
	3 年 B 組	篠 原 悠 仁	しのはら ゆうと



令和7年度 武蔵野市中学生議会日程表

会 期 一 日 間	月日	曜	開議時刻	会議名	会議室	付議事件
	8.17	日	14:00	本会議	本会議場	・一般質問

議事日程

令和7年8月17日（日曜日） 午後2時 開議

第1 会期の決定

第2 諸報告

第3 一般質問

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 給水 BOX、楽器の練習場所について | 第三中学校 |
| | 5 番 川端陽日留 君 |
| | 6 番 深田 紗帆 君 |
| 2. ゴミ箱の設置と充実した公園づくりについて | 第一中学校 |
| | 13 番 新井 純 君 |
| | 14 番 石川 樺音 君 |
| | 15 番 松本龍乃丞 君 |
| 3. 自転車利用者と歩行者の安全について | 第六中学校 |
| | 1 番 梶山 琥雅 君 |
| | 2 番 佐藤 佳穂 君 |
| | 7 番 足立帆乃香 君 |
| | 8 番 篠原 悠仁 君 |
| 4. 吉祥寺のゴミ箱設置と道路拡張について | 第四中学校 |
| | 9 番 佐藤 恒慈 君 |
| | 10 番 蝦名航太郎 君 |
| 5. 公園、修学旅行、夜道と駐輪場について | 第五中学校 |
| | 11 番 福田 惟仁 君 |
| | 12 番 石井 秀明 君 |
| 6. 武蔵野市の魅力発信について | 第二中学校 |
| | 3 番 後藤可也子 君 |
| | 4 番 高橋 奏多 君 |

令和7年度 武蔵野市中学生議会 席次表

席聽傍

母六

8 篠原 悠仁

7 足立帆乃香

中國

12	石井 秀明
11	福田 惟仁
10	蝦名航太郎
9	佐藤 恒慈

五中

15	松本龍乃丞
14	石川 樺音
13	新井 純

母长

2	佐藤 佳穂
1	梶山 琥雅

中

4	高橋 奏多
3	後藤可也子

中三

6	深田 紗帆
5	川端陽日留

[illegible]

菅原局長

木崎議長

市小

教吉

木立
(四)

副西

委川

福

委員	委員
外議	外議

委員	委員
外	外
議	議
員	員

委員	
外議員	

委員	委員
外議員	外議員

委員
外議員

議 会
事 務 局

議 会
事 務 局

村 瀨
事務局次長

委員	東山
----	----

落 委	合 員
--------	--------

委員	原
委員	藪

委員	與座
----	----

委員	橋本
----	----

委 員	山 本
--------	--------

委員	委員
外議	外議

令和7年度 武蔵野市中学生議会会議録

出席中学生議員（15名）

1 番	梶 山 琥 雅 君	2 番	佐 藤 佳 穂 君
3 番	後 藤 可也子 君	4 番	高 橋 奏 多 君
5 番	川 端 陽日留 君	6 番	深 田 紗 帆 君
7 番	足 立 帆乃香 君	8 番	篠 原 悠 仁 君
9 番	佐 藤 恒 慈 君	10 番	蝦 名 航太朗 君
11 番	福 田 惟 仁 君	12 番	石 井 秀 明 君
13 番	新 井 純 君	14 番	石 川 樺 音 君
15 番	松 本 龍乃丞 君		

出席市議会議員（23名）

2 番	きくち 由美子 君	3 番	大 野 あつ子 君
4 番	深 田 貴美子 君	5 番	東 山 あきお 君
6 番	宮 代 一 利 君	7 番	本 多 夏 帆 君
9 番	小 林まさよし 君	10 番	浜 田 けい子 君
11 番	落 合 勝 利 君	12 番	菅 源太郎 君
13 番	さこう も み 君	14 番	藪 原 太 郎 君
15 番	蔵 野 恵美子 君	16 番	木 崎 剛 君
17 番	山 崎 たかし 君	18 番	与 座 武 君
19 番	橋 本 しげき 君	20 番	三 島 杉 子 君
21 番	本 間 まさよ 君	22 番	山 本 ひとみ 君
24 番	西園寺 みきこ 君	25 番	川 名 ゆうじ 君
26 番	深 沢 達 也 君		

来 賓

市 長	小美濃 安 弘 君	教育長	吉 原 健 君
-----	-----------	-----	---------

出席事務局職員

事務局長	菅 原 誠 治 君	事務局次長	村 瀬 健 大 君
------	-----------	-------	-----------



開会前 司会 宮代議会運営副委員長



小美濃市長挨拶

●午後 2時00分 開 会

- 議 長（木崎 剛 君） ただいまより令和7年第1回武蔵野市中学生議会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

初めに、市長より発言を求められておりますので、これを許します。

- 市 長（小美濃安弘 君） 皆さん、こんにちは。御紹介いただきました武蔵野市長小美濃安弘でございます。

今日は令和7年第1回武蔵野市中学生議会ということで、御開催本当におめでとうございます。

どうですか、皆さん、議員の皆さんが座っている議席の座り心地は。本当に今日は本番ながらの形で議事を進められるということで、私も楽しみにしているところでございますが、本来ならば、皆さんが座っているところに議員の皆さんが座っていて、私のところの市長席がありまして、隣は実は副市長席というところなのですが、こちらに部長さんたちがずっと座っておりまして、その議席から、また、この壇上から、武蔵野市をよくしようということで、様々な議員の皆様から提案や御質問をいただいて、答弁をさせていただいているところでございます。

しかし、今日は議会が主催ということで、皆様の質問に関しては、議員の皆さんから答弁をしていただくということで、私のお役目はこの挨拶だけということなので、今日は皆さんの提案をじっくりと聞かせていただいて、本当に、先ほど議長の御挨拶ではありませんけども、いい提案はどんどん採用していきたいなというふうに思っておりますし、また、議員の皆さんも、今日皆さんの提案を聞いて質問に取り入れていってくれるのではないかなというふうに思っておりますので、そういう意味では、皆さんにとりましても、真剣にぜひ取り組んでいただければなというふうに思っています。

今日のこの中学生議会が皆さんの夏休みのいい思い出となり、そして、これからの皆さんの活動に、また、生活に意義のあるものになることを心から御祈念申し上げまして、冒頭の御挨拶とさせていただきます。

それでは、皆さん頑張ってください。

- 議 長（木崎 剛 君） 次に、教育長より発言を求められておりますので、これを許します。

- 教育長（吉原 健 君） 中学生の皆さん、こんにちは。ただいま御紹介いただきました教育長の吉原と申します。今日は中学生議会にお招きいただきまして、ありがとうございます。

私、実は今年の3月まで都内の中学校で働いておりました。教員として、そしてまた校長として、中学生の皆さんとずっと長く関わらせていただきました。ですので、こうやって中学生の皆さんの姿を見ると、本当にほっといたします。何より、私が仕事をする中で、中学生の皆さんからいつも勇気と元気を



吉原教育長挨拶

いただきながら、私も中学校で勤めることができました。

一番私が楽しみにしていた時間は、生徒会の子たち、生徒会の役員の子たちと、月1回だけなのですが、校長室で対談というのをします。何のためにするかというと、どうやったらうちの学校をもっといい学校にできるか、もっとよりよい学校にするにはどうしたらいいかということを、私自身も生徒会の役員の生徒さんたちからいろいろと意見を聴いておりました。そのときに中学生の皆さんからいただいた意見が、私にとってもとても新鮮で、いろいろな切り口から、もっとこうすればこの学校はよくなるのではないかという意見をいただきながら、ある意見は、それをまた教員と職員会議等で相談しながら実現にこぎ着けたこともあります。

今日は皆さん、もう一つ視野を広めて、例えば地域とか社会のために中学生がどんな提言ができるか、そういう視点で、もう少し広く視野を広げていただいて、皆さんからの積極的な意見や質問を伺えるのをとても楽しみにしています。私の考えでは、中学生はもう立派に地域の一員としての力を十分持っていると思いますし、皆さんはそれだけの期待もされている存在だと思いますので、今日は今まで積み上げてきたことをぜひ堂々と発表していただいて、私どももまた今後の参考にさせていただきたいと思います。

今日はどうぞよろしくお願いいたします。

第1 会期の決定



- 議長（木崎 剛 君） これより議事に入ります。

本日の議事は、日程第1号をもって進めます。

日程第1 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今期中学生議会の会期は、本日1日といたしたいと思いますが、これに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（木崎 剛 君） 異議ないものと認めます。よって、今期中学生議会の会期は1日と決定いたしました。



第2 諸報告



- 議長（木崎 剛 君） 次に、日程第2 諸報告を行います。

局長に報告をさせます。

- 事務局長（菅原誠治 君） それでは、本日の出席議員を学校ごとに紹介をいたしますので、名前を呼ばれましたら、元気よく返事をして、起立をしてください。

第六中学校、1 番、梶山琥雅議員、2 番、佐藤佳穂議員、7 番、足立帆乃香議員、8 番、篠原悠仁議員。

第二中学校、3 番、後藤可也子議員、4 番、高橋奏多議員。

第三中学校、5 番、川端陽日留議員、6 番、深田紗帆議員。

第四中学校、9 番、佐藤恒慈議員、10 番、蝦名航太朗議員。

第五中学校、11 番、福田惟仁議員、12 番、石井秀明議員。

第一中学校、13 番、新井 純議員、14 番、石川樺音議員、15 番、松本龍乃丞議員。

以上です。

- 議長（木崎 剛 君） 以上をもって諸報告を終わります。



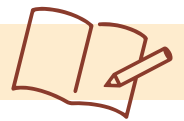


5 番 川端陽日留 君



6 番 深田紗帆 君

第 3 一般質問 1. 給水 BOX、楽器の練習場所について



● 議 長（木崎 剛 君） 次に、日程第 3 一般質問を行います。

なお、一般質問の答弁は、議会運営委員会委員が行います。

給水 BOX、楽器の練習場所について、第三中学校、5 番川端陽日留議員、6 番深田紗帆議員。

（5 番 川端陽日留君、6 番 深田紗帆君 登壇）（拍手）

● 5 番（川端陽日留 君） これから武蔵野市立第三中学校の発表を始めさせていただきます。川端と。

● 6 番（深田紗帆 君） 深田です。

● 5 番（川端陽日留 君） 私たちは、給水ボックス、楽器の練習場所について発表させていただきます。

● 6 番（深田紗帆 君） まず、給水ボックスについてです。

最近、とても暑くなってきましたよね。少し外に出るだけでも汗をかいてしまいます。気象庁のデータによると、ここ数年で平均気温が 2 度以上も上がっていて、猛暑日も増えてきています。熱中症警戒アラートもよく聞くようになりました。熱中症にならないように飲物を買おうにも、すぐにお店を見つけ購入することは難しく、自動販売機は見つけられたとしても、数年前に比べ値段が上がっていて、買うのを渋ってしまいます。

そこで私たちは、まちなかですぐに涼しい場所で冷たい水を飲むことができる給水ボックスについて考えました。

給水ボックスのポイントは全部で 3 つあります。1 つ目は、外見と設置場所についてです。給水ボックスは、電話ボックスの電話のところを給水機に変えたような設備です。ボックス内は冷房を効かせ、電話ボックスよりやや広めの大きさにして、暑さから一時的に避難できる場所としても活用していきたいと思っています。冬には給水ボックス内に暖房を効かせ、給水機からお湯が出てくるようにし、年中活用できるようにしていきます。主に駅前や公園などに設置し、誰でもアクセスしやすく、気軽に立ち寄れる場所にしていきたいです。

2 つ目は、設備自体の特徴についてです。公園などに写真のような給水器はありますが、真夏日だと水がぬるくなっていたり、紙コップや水筒に入れにくく、飲みにくかったりと、あまり利用されていません。私たちの思う給水機は、先ほど述べた公園にあるようなものとウォーターサーバーの機能を兼ね備えたものです。公園にあるようなものと同じように、給水機から直接水を飲むこともでき、ウォーターサーバーとして紙コップや水筒に入れることも可能にして、様々な用途に使えるようにしていきたいです。実際にそのような設備を会社内に設置しているところもあります。そのため、実現性は高いと思います。



第三中学校発表

3つ目は、給水アプリについてです。せっかく給水ボックスを設置しても、場所が分からないのでは使いようがありません。そこで、給水アプリを導入して、どこに給水ボックスがあるかを簡単にスマートフォンからいつでも確認できるようにします。そこに着くまでのルートも示し、簡単にたどり着けられるようにしていきたいです。また、給水ボックス内に SNS で紹介してもらうための貼り紙を設置し、知名度を上げ、様々な人に知ってもらい、活用できるようにしていきたいと考えています。

このような工夫をしていくことで、給水ボックスがより実現しやすくなり、暑い夏でも熱中症にならずに済みます。

以上で給水ボックスに関する提案を終わります。

● 5 番（川端陽日留 君） 次に、楽器の練習場所についてです。

私は吹奏楽部に所属しています。部活以外でも、私は楽器を習っていて、たくさん練習したいのですが、休日や部活がない日などで練習しようとしても、練習する場所がありません。前提として、学校以外の練習場所としては、家やカラオケ、コミセン、屋外、音楽スタジオなどが挙げられます。しかし、家は防音ではないこともあり、近隣住民の迷惑になってしまいます。ほかにも、カラオケは生徒のみでは行っただけいけないという校則があり、親を連れていくことが必要です。コミセンは防音室がありますが、少人数では予約することができず、大人数でも、親がいなくては部屋を借りることができません。また、たくさんの人が利用するため、すぐに予約が埋まってしまい、利用したいときに利用することができません。屋外で練習できそうな河原や公園、海岸などは身近になく、あったとしても、周りの目が気になったり、楽器が温まってしまったりなど、練習には困難です。音楽スタジオは吉祥寺に何個かありますが、お金がかかってしまうため、中高生は借りるのをためらってしまいます。

そこで、幾つか提案があります。

1つ目は、コミセンの中高生専用時間づくりです。コミセンの部屋は、午前、午後、夜間で借りられる時間が分かれています。その隙間を縫って、中高生専用時間として防音室を借りられ、使えるようにすることで、個人練習ができるようになります。学生か、そうでないかの判断のために生徒手帳を提示し、それにより、親がいなくても、その時間内なら防音室が使えるようにします。そうすることによって、短時間ではありますが、個人練習を行うことができます。

2つ目は、コミセンの防音個人スペースづくりです。今後、本町コミセンの建て替えが予定されています。その際、カラオケのような防音の個人スペースをつくることで、1人でもコミセンの部屋を借り、練習することができるようにします。1人専用だけではなく、二、三人でも使えるようにすることで、ちょっとした合奏にも対応することができます。しかし、この案は、実現できたとしても、実際に使えるのはかなり先になってしまいます。



第三中学校への答弁 落合議員

3つ目は、学校内での施設貸出しです。例えば、私たちの通う第三中学校は音楽室が3つもあります。吹奏楽部の練習日は、基本的に月曜日、火曜日、木曜日、金曜日です。練習がない日は、先生に許可をもらうことで音楽室を使用できるようにしたら、ふだん通っている学校で、合奏だけではなく個人練習まで済ませることができます。ふだんの学校生活の中で実現するには難しいかもしれませんが、夏休み期間だけなど、ルールをつくることで実現しやすくなると思います。

● 6 番（深田紗帆 君） 私たちからの提案は以上です。

まとめると、夏の熱中症対策になる給水ボックス、主に個人練習の場となる楽器の練習場所に関する提案になります。特に、給水ボックスは高額な費用がかかるため、実現は難しいかもしれませんが、ぜひ御検討をお願いします。

御清聴ありがとうございました。（拍手）

● 11 番（落合勝利 君） それでは、第三中学校、川端議員、深田議員から、大きく2点、給水ボックスについて、また、楽器の練習場所についての御提案をいただきました。順にお答えをいたします。

まず、給水ボックスについてです。御指摘いただきましたとおり、近年の猛暑は災害級とも言われ、年々厳しく、深刻さを増している状況です。熱中症予防対策としては、2020年より熱中症警戒アラートの発表が開始され、猛暑の中での活動自粛や小まめな水分補給を促す取組がされているところですが、熱中症で緊急搬送される患者数も増加傾向にあります。ちなみに、東京都においては、過去最高であった昨年が8,278件、今年も8月12日現在で6,651件ということになっており、年齢別に見ても、高齢者だけでなく若年層でも多くの方が熱中症になっているとの報告もいただいています。こうした現況を受けて、今回の提案は非常に大事な視点であり、積極的に対応していかなければいけない課題だと考えております。

さて、御提案の1点目で、駅前や公園など誰でも気軽に利用できる場所へ電話ボックスのような外観の給水装置を設置してはどうかとのことであります。まず、公園については、多くの公園に水飲み場が設置されており、水分補給は可能であります。夏場においてはぬるくなってしまい、あえて飲みたいと思えないのも理解できます。同様に、全ての学校で冷たい水が飲めるようにはなっていないということも現実でございます。駅周辺では、どんな場所に設置できるか検討が必要でありまして、駅近の公共施設などでは水分補給できる場所もありますので、そうした場所の利用も推進していきたいというふうに考えています。

いずれにしても、水分補給のインセンティブを促す意味でも、冷たい水が気軽に飲める場所を提供することは大事な取組でありますし、全国的にも今後の大きな流れにつながっていくものと考えています。

どのような設備を設置するかという点については、管理上の問題、また、衛生上の課題なども踏まえ

つつ、前向きに検討していくように努めたいと考えています。

2点目の設備の特徴についてですが、その場で飲むことができ、かつ、水筒などへの給水が可能な設備が望ましいと考えています。ただし、特定の方が大量に使用してしまうなどの課題も、また地域では報告されておりますので、運用の課題なども検討しながら対応していくよう受け止めたいと考えております。

3点目の給水アプリですが、非常にユニークなアイデアで、ぜひ進めてはどうかと考えています。既に民間団体やNPO等においては、マイボトル運動と連動させながら給水スポットを紹介していく活動が展開されています。御指摘のとおり、市内においても、給水ポイントは公共施設を中心に設置はされているものの、周知が行き届いていない面もあるかと思います。また、熱中症対策としては、いつとき避暑地を設定して水分補給もできるような対策を講じてはいますが、この点もさらなる周知が必要かと思います。施設によっては給水設備や運用の違いもあるので、時間はかかるかもしれませんが、前向きに捉えて考えていきたいと思います。

次に、楽器の練習場所についてであります。折しも東京都吹奏楽コンクールの予選も終了したところで、市内中学校の6校も出場されておりました。各校とも非常に熱心に取り組まれており、指導いただいている先生方や御家族を含め、精力的に取り組まれていることに改めて敬意を表したいと思います。また、将来的に音楽の道に進みたいと意欲を持って活動している生徒も多数おり、私たちも全力で応援したいと考えておりますし、日々の練習に対し、場所の提供をはじめ、できる限り支援をしていきたいと考えています。

その上で、1点目のコミセンの中高生専用の時間づくりですが、コミセンについては、基本的に各年代の利用希望者に対して差別化をした運用は行っており、空いている時間があれば、自由に使えるとの対応を取っているようであります。運用そのものは各コミセンの自主運営に委ねられているため、専用の時間帯をつくることができるかどうかは、コミュニティ協議会と相談していかなくてはなりません、子どもの権利条例も施行され、中高生の皆さんの意見も取り入れて運営していくことも求められておりますので、前向きに改善していけるよう受け止めたいと考えます。

2点目のコミセンの防音個人スペースづくりですが、既存のコミセンでは一部を除いて防音スペースがあり、利用については、1点目と同様、コミセン側との協議が必要かと考えています。本町コミセンの建て替えについても触れられておりましたが、中高生の意見も取り入れて、防音スペースが設けられるよう計画が進められています。今後のコミセンの建て替えが計画をされる際には、ぜひ中高生の皆さんの意見も積極的に出していただきたいと考えています。

3点目の学校内での施設の貸出しについてです。御提案いただいたとおり、夏季休暇中などに音楽室を自由に活用できると非常にありがたいと思います。かつて、私たちの時代ですが、比較的自由に学校に出入りしていたものでありますが、社会情勢も大きく変化し、安全性が重視される時代になりました。先生方や保護者の付添いなど、安全管理を十分担保した上で、利用できるかどうかを検討していかなくてはならないかと考えます。

いずれにしても、学校側もできる限り希望をかなえてあげたいというふうに考えているものと思いますので、どんな課題があるのか、相談の上、検討を進めていってはどうかというふうに考えています。

以上、三中の皆さんからいただいた大事な視点での御提案と受け止めておりますので、実現に向けて私たちも努力してまいりたいと思います。ありがとうございました。

● 議 長（木崎 剛 君） 第三中学校は、ただいまの一般質問に対する感想をお願いいたします。

● 5 番（川端陽日留 君） 御回答ありがとうございました。

今回の中学生議会を通して、私は武蔵野市について様々な角度から学び、自分たちの住むまちの現状や未来について深く考えることができました。参加させていただいたことに感謝するとともに、貴重な機会をつくってくださった皆様、本当にありがとうございました。



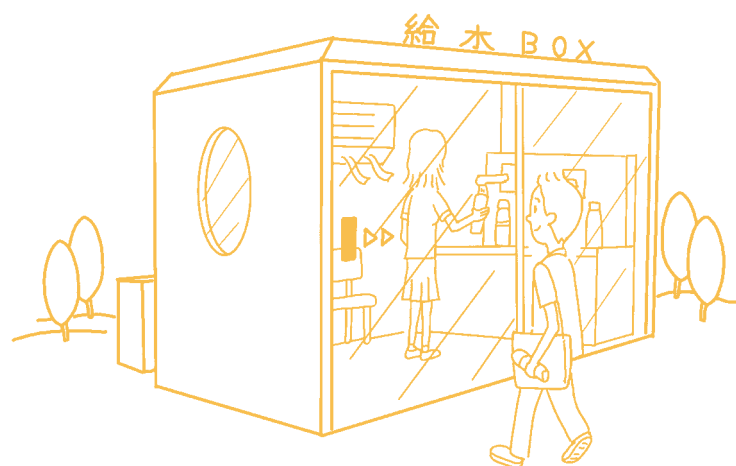
以上です。

● 6 番（深田紗帆 君） 今回の中学生議会では、議員の方々と関わりながら、まちをよりよくする方法を考えることができ、とても貴重で充実した体験になりました。私自身も、発表スライドや読み原稿を作成していく上で、学校内のことだけではなく、まち全体のことを知ることができました。

私たちの質問内容は、すぐに実行できないものが多かったですが、真摯に受け止め考えてくださり、とても感謝しています。

本日はこのような場に参加させてくださり、本当にありがとうございました。

以上です。





13番 新井 純君



14番 石川樺音君

第3 一般質問 2. ゴミ箱の設置と充実した公園づくりについて



●議長（木崎 剛君） 次に、ゴミ箱の設置と充実した公園づくりについて、第一中学校、13番新井純議員、14番石川樺音議員、15番松本龍乃丞議員。

（13番 新井 純君、14番 石川樺音君、15番 松本龍乃丞君 登壇）（拍手）

●14番（石川樺音君） 皆さん、こんにちは。武蔵野市立第一中学校の石川と。

●15番（松本龍乃丞君） 松本と。

●13番（新井 純君） 新井です。

これから私たちは、ごみ箱の設置と充実した公園づくりについて提案をしていきます。

まず、ごみ箱の設置についてです。結論としては、吉祥寺駅周辺や公共の場にごみ箱を設置してほしいと思っております。理由としては、公共の場である吉祥寺駅周辺でのたばこの吸い殻、ペットボトルや缶などのポイ捨てが目立つためです。実際に、吉祥寺駅の1日の乗降者数は23万人を超えているというデータがあります。その分、出るごみの量も多くなり、このようなポイ捨てが目立ってしまうと、吉祥寺の魅力の一つである美しい景観が損なわれてしまうという懸念があります。そこで、今の現状について皆さんに考えていただきたく、今回この場を借りて提案することになりました。

●15番（松本龍乃丞君） まず、ごみ箱の設置が少なくなった理由として、1995年に発生した地下鉄サリン事件から、テロ防止ということで撤去された場所がほとんどです。しかし、ごみ箱を設置する際の対策として、透明なごみ箱を設置して何が捨てられているか見て分かるようにすれば、テロ防止になると考えられます。また、ごみ箱設置が増えると、家庭内のごみを持ち込む可能性が増えることが考えられますが、ごみ箱の投入口を小さくすることによって、家庭内のごみを入れることを防ぐことができます。こうした対策をごみ箱設置時にすることにより、問題が減ると考えられます。

そこで、この対策を含めたごみ箱設置をしていただきたいと思いますのですが、ごみ箱設置について、市議会議員の皆様は、私たちの提案をどのようにお考えでしょうか。

これでごみ箱設置についての提案を以上とさせていただきます。

●14番（石川樺音君） 次に、公園を開かれたものにするための提案をしていきます。具体的には、ユニバーサル遊具の設置や、屋根ありの公園を武蔵野市内に増やしていきたいと考えています。

1つ目のユニバーサル遊具の設置を増やしたい理由としては、障害の有無や年齢、国籍に限らず多くの人が楽しめるユニバーサル遊具を設置することで、子どもの成長と発達を促し、それを見守る大人の人も楽しめるからです。しかし、そんなメリットあふれるユニバーサル遊具が設置されている公園は、武蔵野



15 番 松本龍乃丞 君



第一中学校発表

市内でたったの1か所しかありません。そこで、武蔵野市内の公園にユニバーサル遊具を設置することについて、市の見解をお聞かせください。

● **15 番**（松本龍乃丞 君） 続いて2つ目の、屋根ありの公園づくりについての提案です。屋根のある公園を増やしてほしいというのが私たちの結論です。理由としては、雨の日に屋外で遊ぶことができないからです。最近は屋内でゲームをしたりすることが多く、それが運動不足につながってしまうおそれがあります。また、地球温暖化の影響で暑い日が続く中、日差しを遮るものがないと、遊んでいる子どもや見守っている大人も熱中症になる可能性があります。

● **14 番**（石川樺音 君） こちらの資料を御覧ください。この資料は、2020 年から 2024 年までの東京都の猛暑日の推移を表しています。この資料から、東京都では猛暑日を観測する日が年々増えていることが分かります。そのため、屋根ありの公園を増やしていくことで、暑い日でも日陰があるため、熱中症予防にもなると考えます。また、暑い日でなくとも、雨の日は雨よけにもなるので、犬の散歩も雨に当たらず快適にすることができます。この提案についても、市の見解を伺います。

● **13 番**（新井 純 君） 公園や公共の場にごみ箱を設置すること、公園を囲いではなく、もっと開かれたものである「公遠」として考えるユニバーサル遊具の設置、屋根ありの公園づくりについて、ぜひ前向きに御判断いただければ幸いです。

武蔵野市立第一中学校の発表を終わります。御清聴ありがとうございました。

以上です。（拍手）

● **14 番**（藪原太郎 君） 一中議員の皆様、本日は大変貴重な御提案をいただきまして、誠にありがとうございます。武蔵野市のまちづくりに対して真剣に向き合い、市の現状や課題を丁寧にお調べいただいた上で、具体的な改善策を考えてくださったこと、深く敬意を表します。

今回御提案をいただきました内容は、どれも市政にとって重要なテーマであり、実際に政策や施策に通じる、非常に実践的で、かつ将来を見据えた視点を感じました。とりわけ、ごみ箱の設置、ユニバーサル遊具の導入、屋根つき公園の整備という3つの提案には、日常生活の中で感じた課題や疑問を出発点として、市民の目線でまちの環境をどうよくしていくかという強い思いが込められていたように思います。

それではまず、ごみ箱の設置についてお答えをいたします。

御指摘のように、吉祥寺駅をはじめとした市内の人通りの多い場所では、ポイ捨てやごみの散乱によって景観が損なわれるといった声が寄せられております。吉祥寺駅は、市内外から多くの方が訪れる拠点であり、お示しいただいたように、1日の利用者数は23万人を超え、全国でも有数の規模を誇ります。その分、まちを清潔に保つための環境整備も非常に重要となってまいります。一方で、1995年発生いたしました地下鉄サリン事件を契機に、全国的に駅や公共施設からごみ箱が撤去される動きがありました。



第一中学校への答弁 藪原議員

このような経緯により、現在に至るまで、ごみ箱の設置は、安全面や不法投棄の問題など様々な観点から、慎重な検討が必要とされております。

しかしながら、お示しいただいたように、透明で中身の見える構造や、家庭ごみを入れづらくする投入口の形状など、技術的な工夫を取り入れれば、安全性と利便性の両立は十分に可能であるとも考えられます。景観の保全、市民の快適な生活環境づくりの観点からも、今後は、場所や管理方法を慎重に検討しつつ、再設置の可能性を模索していくべきではないかと考えております。そうした動きが進むよう、関係部局とも連携を図りながら、引き続き働きかけをしまいたいと考えております。

次に、ユニバーサル遊具の設置についてお答えをいたします。

障害の有無や年齢、言語、文化的な背景を問わず、全ての人が安心して利用できる公園や遊具の整備は、これからの時代において欠かせない考え方です。ユニバーサルデザインの導入は、単にバリアフリーの観点にとどまらず、地域に暮らす全ての人に開かれた公共空間をつくるという理念の実現につながってまいります。

武蔵野市でもこれまで、段差の解消やスロープの設置など、物理的バリアの解消には一定の取組を進めてきましたが、遊具における配慮は、まだまだ十分とは言えません。いただいた御提案にあるような、車椅子に乗ったままでも楽しめる遊具や、言葉を使わなくても遊び方が分かるような設計などは、今後の更新や新設のタイミングを捉えて導入していくべき方向性だと考えております。安全基準や費用面の課題はありますが、それらを乗り越える価値のある整備であると認識しております。こうした遊具の導入が進むよう、市に対して引き続き働きかけてまいりたいと考えております。

続いて、屋根つき公園の整備についてお答えをいたします。

ここ数年、夏の気温上昇は著しく、熱中症のリスクが非常に高まっております。また、突然の雷雨など、天候が不安定な日が増える中で、子どもたちが安心して体を動かせる場所の確保は、まちの大切なインフラの一つであると言えます。現在、武蔵野市内でも、一部の公園では屋根つきのスペースが整備されておりますが、その多くは鉄道の高架下を活用した空間に限られているのが現状です。

そうした中で、もっと自由な形での屋根つき公園の在り方、例えば、地域の防災機能も兼ね備えた多目的広場などを検討していくことは、子育て世代にも高齢者にも喜ばれる整備につながると感じております。皆様の提案は、今後の施設整備において、こうした発想を政策に取り入れていく上で非常に示唆に富んだものであり、担当部局にも共有をした上で、計画に反映されるよう、私も努めてまいりたいと思います。

答弁は以上となりますが、本日の御提案は、まちづくりの当事者としての視点、市民としての素直な気づきの両方を兼ね備えた極めて意義のあるものだと感じました。若い世代の皆様が地域の課題を自分事と



して考え、実際に声を上げてくださったことは、まさに民主主義の実践であり、私たち大人にとっても学びの多い時間となりました。本日いただいた御意見は、今後の市政運営にしっかりと生かしていけるよう、丁寧に受け止めてまいります。

改めて、本日、誠にありがとうございました。

- **議長**（木崎 剛 君） 第一中学校は、ただいまの一般質問に対する感想をお願いいたします。
- **13 番**（新井 純 君） 今日はこのような機会を企画していただき、本当にありがとうございました。私たち中学生の意見に真剣に耳を傾けてくださり、本当にうれしく思います。ありがとうございました。
- **14 番**（石川樺音 君） 今日はこのような貴重な場でプレゼンをさせていただき、ありがとうございました。中学生の立場から、武蔵野市をよりよくするための提案をできたことは、とても貴重な経験だと思います。ありがとうございました。

以上です。

- **15 番**（松本龍乃丞 君） まずは、このような場面で、機会をいただきありがとうございました。中学校では分からない、中学校では体験できない視点から、まちをよりよくするということを改めて感じました。

以上です。



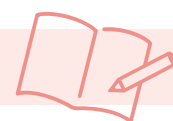


1 番 梶山琥雅 君



2 番 佐藤佳穂 君

第3 一般質問 3. 自転車利用者と歩行者の安全について



● 議 長（木崎 剛 君） 次に、自転車利用者と歩行者の安全について、第六中学校、1 番梶山琥雅議員、2 番佐藤佳穂議員、7 番足立帆乃香議員、8 番篠原悠仁議員。

（1 番 梶山琥雅君、2 番 佐藤佳穂君、7 番 足立帆乃香君、8 番 篠原悠仁君 登壇）

（拍手）

● 2 番（佐藤佳穂 君） こんにちは。武蔵野市立第六中学校の佐藤と。

● 1 番（梶山琥雅 君） 梶山と。

● 8 番（篠原悠仁 君） 篠原と。

● 7 番（足立帆乃香 君） 足立です。

私たちのテーマは、自転車利用者と歩行者の安全についてです。

● 1 番（梶山琥雅 君） 都会に暮らす学生、私たちにとって自転車は相棒のようなものです。しかし、その相棒に裏切られることもあります。

● 8 番（篠原悠仁 君） そう、私たちが問題視しているのは、自転車と歩行者の間におけるトラブルです。

武蔵野市は住宅街が狭く、自転車が走りにくいです。人口密度は、全国の市区町村で2 位となっています。登下校の時間帯には、通学路の道幅ぎりぎりに走っているムーバスにひかれそうになることもあります。

● 7 番（足立帆乃香 君） そこで、私たちは考えました。武蔵野市に住んでいる人々を奥多摩に移住させて、そこらじゅうの道を広くしてしましましょう——って、絶対無理ですね。

● 2 番（佐藤佳穂 君） 冷静になった私たちは、道でなく、自転車側に目を向けることにしました。なぜ自転車と歩行者がぶつかるのか、それは、半数近くの自転車が歩道を走ってしまっているからです。歩道を走っている自転車を見かけたことがある方は手を挙げてもらってもいいですか——ありがとうございます。私も何度も見かけたことがあります。

● 1 番（梶山琥雅 君） なぜ自転車が車道ではなく歩道を走っているのか。それは、もしかしたら車道のルールがよく分かっていないからではないでしょうか。

現在、武蔵野市内の小・中学校では、自転車視点のルールに関する出張講習会が行われています。ですが、なぜか歩道を走ってしまっている自転車もいっしょにいます。ここで視点を変えて、自動車のルールに関する出張講習会を行ってみることで、車道のルールがよく分かっていないという課題の解決にもつながると私たちは考えています。



7 番 足立帆乃香 君



8 番 篠原悠仁 君

● 8 番（篠原悠仁 君） そして、先ほど言った出張講習会というのは、小・中学生を対象にしたものですが、自転車に乗るのは小・中学生でだけではありません。当たり前ですよね。武蔵野市では 2008 年頃から、市役所やスイングホールで自転車安全利用講習会というのが行われています。これは、武蔵野警察署の方や専門家の方が自転車を安全に利用するための講習をするという内容で、参加費は無料、インターネットでの申込みも可能、入場者特典つきなど、かなりメリットの多いものとなっています。

ちなみに、中学生議員の方でこのことを御存じだった方、手を挙げてもらっていいですか—— まあ、こんな感じなのです。このとおり、申込み制という参加へのハードルだったり、知名度が低いことが課題になっています。

● 7 番（足立帆乃香 君） そこで、講習会を周知させる手段として、武蔵野市公式 LINE が利用できると思っています。欲しい情報をアンケートで個別に設定できたり、チャットボットでの検索機能も利用できます。便利。ですが、そもそも交通ルールに興味のない人が自転車講習会について調べるかと言われてしまったら、それまでです。

● 2 番（佐藤佳穂 君） それらを踏まえて、私たちは、中央線などで流れている電車内の動画を使って、自転車や道路のルールに興味を持っていただけないだろうかと思っています。自動車免許の筆記試験の回答が面白いとインターネットで話題になったこともありますし、自転車や道路のルールについてクイズ動画を電車内で流せば、詳しく知ろうとすることのきっかけになるのではないのでしょうか。

● 1 番（梶山琥雅 君） したがって、私たちは、自転車利用者と歩行者の安全性を上げるために、小・中学校で行われている出張講習会の内容に自動車視点でのルールも加えることと、電車内のモニターに道路交通法についてのクイズを流すことの 2 つを提案します。

● 8 番（篠原悠仁 君） 以上で第六中学校の発表を終わります。ありがとうございます。（拍手）

● 22 番（山本ひとみ 君） それでは、ただいまの第六中学校、梶山さん、佐藤さん、足立さん、篠原さんの一般質問に対してお答えを申し上げたいと思います。

まず初めに、私もシニアではございますけれども、毎日のように自転車を使っておりますので、おっしゃったように、自転車というのは私にとっても相棒だというふうに感じております。そして、この質問は、自転車利用者と歩行者の安全というテーマです。それを選んでいただいて、具体的な御提案があったことは、とても時宜にかなったテーマや御提案であるというふうに深く感謝をいたしております。

それで初めに、私も、事故が多いということで、どういうことか自分としても調べてみたのですけれども、警察によりますと、交通事故が武蔵野市で 100 あったら、その 3 分の 2 が自転車に関する事故となっているそうで、昨年 1 年間では、武蔵野市内で 397 件あった事故の中で、自転車の関与した事故が 258 件、64.7% となっているそうです。そして、今の法律、道路交通法によれば、自転車は軽車両と



第六中学校発表



第六中学校への答弁 山本議員

いうことになっておりますから、確かに、車道の左側を走らなければならないということになっており、これは、去年の11月1日に、自転車に関しても道路交通法の改正がありまして、来年の4月1日からは、違反したら反則金も取られるような内容が施行されるということになっているそうです。

私ももう少し詳しく現状を見たのですが、まず、歩道上を全く走ってはいけないのかという点では、13歳未満と70歳以上のシニアは歩道上を徐行できるという決まりがあります。また、路上駐車、路駐などで車道の走行が危険な場合も歩道上を徐行できるという決まりがございました。

先ほどの御提案のスライドにもありましたけれども、武蔵野市って、確かに自転車専用道路というのがなかなか少ないですね。多ければいいのにと私も思いますので、もう1回これも調べて聞いたりもしたのですが、自転車専用道路の幅、幅員というのは1.5メートル必要だということになっておりますので、その1.5メートルが両側にあって、しかも車道があって、歩道があってということで造るのは、なかなか難しいところが多いというふうに伺いました。

それから、先ほど御提案のあった自転車の安全利用講習会に関して、どうもまだ知名度が低くて大変だというお話がございました。事務報告というのが配られているのですが、その一昨年度、令和でいうと5年度なのですが、そこでの定期講習会は年30回開かれていて、836名が参加、出張の講習会は年21回で、1,864人が参加ということでございました。これを多いと見るか、少ないと見るかと思うと、やはり今の人口に比べたら、もう少しあったほうがいいのかもしれないなと私も感じました。

それで、今後の取組に関する御提案に関して私の意見を幾つか申し上げたいと思います。

まず、この講習会に自動車視点でのルールを加えるということに関しては、この御提案は大変すばらしい、よいのではないかと、しかも実現の可能性も私は高いのではないかと考えておりますので、働きかけていきたいと思っております。

それから2番目で、市の公式のLINEを活用したらどうかということですが、今でもこの公式のLINEでイベントの周知はしているので、ここで講習会等を周知していくのは大いに可能性があるというふうに感じております。

次に、電車です。電車の中で、例えば、今日も見ましたが、ドアの上側にある小さいモニター、動画が動いています。それから中張り広告もございます。こういうことに関しては、なるほど、今の若い方にとっては、動画を使うとかクイズ形式というのは人目を引いていいのだなというふうに私も改めて気づかされました。

それについて考えたのですが、JRというのは自治体ではございまして、武蔵野市とは異なる機関でありまして、また、中央線が市民でない方も多数利用されているという点もございますので、いいアイデアだとは思いますが、中張り広告や電車のドア上の動画というのは、ちょっと難しい点



もあるかなと、課題があるかなと感じています。

でも、では動画は全然無理かということに関して考えたのですが、まず、インターネットを使った動画は、交通企画課が今、通年でユーチューブで動画を流しているのですが、やはりこういうことをもっと活用したり、広げていったり、内容を更新するということができるかなと考えました。

また、大型の動画を流しているビジョンが、武蔵野市内だったら、吉祥寺東口にあるスーパーのライフの上の壁面とか、武蔵境駅北口の QuOLa の壁面では市の動画も流しているので、そこは活用できるかなと思います。ただ、あそこに立ち止まってじっと見る人というのはそんなにはいないような気がするので、クイズというと、ちょっとどうなのだろう、長く見ないといけないのかなという点で課題はあるかなと考えております。

また、それ以外にも、ちょっと御負担になるかもしれませんが、市役所の許可印がある A4 サイズの紙だったら、ムーブスの掲示板に貼ることが可能です。また、あいう QuOLa の横とかライフの横とかのあの大型ビジョンで直接出て、啓発や、こういうことを考えてもらいたい、車を運転している人はこういうことがありますということを言うことができるかなというふうに感じております。

少し長くなりましたが、本日皆様が具体的によく考えていただいて、調べていただき、提案もされ、本当にありがとうございました。今後もこの御提案が形になるように、私も一生懸命努力していきたいと思っております。本日は本当にありがとうございました。

● 議長（木崎 剛 君） 第六中学校は、ただいまの一般質問に対する感想をお願いをいたします。

● 1 番（梶山琥雅 君） 本日は前向きな検討をありがとうございました。今日はすごく有意義な時間になりました。ありがとうございました。

● 2 番（佐藤佳穂 君） 本日はこのようなすごくいい機会をつくってくださり、ありがとうございました。これからは武蔵野市がよいまちとなるよう、日々考えながら過ごしていきたいと思っております。ありがとうございました。

● 7 番（足立帆乃香 君） 本日は貴重な機会をありがとうございました。また、私たちの提案に対して丁寧に向き合ってください、本当にありがとうございました。提案の根拠が裏づけされるような具体的な数値を示していただいたりとか、実現できそうかとか、できなさそうかとか、具体的なことを話してください、未来のことが鮮明に見えて、とても楽しかったです。ありがとうございました。

● 8 番（篠原悠仁 君） 御回答ありがとうございました。準備の段階から議員さんが親身になってサポートしてくれて、どんな、こんなのできるわけないでしょうみたいな意見をばろっと出しても、それを拾ってくれて、否定せずに、提案してみたらいいのではないかと一言を言ってくくださったので、すごくいろいろな意見を自信を持って発表することができました。ありがとうございました。



9 番 佐藤恒慈 君



10 番 蝦名航太郎 君

第 3 一般質問 4. 吉祥寺のゴミ箱設置と道路拡張について



● 議 長（木崎 剛 君） 次に、吉祥寺のゴミ箱設置と道路拡張について、第四中学校、9 番佐藤恒慈議員、10 番蝦名航太郎議員。

（9 番 佐藤恒慈君、10 番 蝦名航太郎君 登壇）（拍手）

● 9 番（佐藤恒慈 君） 皆さん、こんにちは。第四中学校の佐藤恒慈です。

● 10 番（蝦名航太郎 君） 蝦名航太郎です。

● 9 番（佐藤恒慈 君） 本日は、吉祥寺のごみ箱設置と道路拡張についての提案をさせていただきます。まずは、吉祥寺のごみ箱設置についてです。

現在の吉祥寺では、ポイ捨てされたごみが目立ちます。これは実際の早朝の吉祥寺のまちの写真です。ぱっと見、きれいなところが多かったですが、隅に目をやると、タバコやティッシュのごみ、ベンチには空き缶や食べ物などがありました。ポイ捨てされたごみが目に入ると、とても悲しい思いを私はします。

それで、私が吉祥寺で実際に遊ぶとき、飲物や食べ物を買って食べたり飲んだりします。そのときに、ごみをどうしようと困ることがあります。皆さんはどうしますか。バッグに入れる、ごみ箱を探す、それともポイ捨てをしてしまう。飲物のごみなどがあると入れないお店なども多くあります。そんな問題を解決するために、私たちは、吉祥寺の店同士で提携をしてもらい、ごみ箱を設置してもらうことを提案します。

具体的には、提携店でごみ箱を設置し、提携店のごみをどこの提携店でも捨てられるというものです。捨てる人には捨てるたびにポイントを付与し、提携店のサービスや商品、クーポンなどと交換できるようにします。店側のメリットとしては、物理的に人が来ることによって客足増加につながります。また、店周りの景観がよく、清潔になります。ごみ箱の設置と廃棄は各店に委ね、提携してくれた店に市から補助金を出してもらいます。

次に、ごみ箱についての提案です。近年、IoT 技術を活用した SmaGO という環境に配慮されたごみ箱の普及が進んでいるようです。このごみ箱を導入するメリットは主に 2 つあります。1 つ目は、ごみでごみ箱があふれることを防げることです。蓄積されたごみを自動で圧縮できるとともに、ごみの蓄積状況をリアルタイムで確認できるため、回収頻度の低減及びコスト削減にもつながります。同じ容量のごみ箱のおよそ 6 倍の量のごみを収容できます。そして、2 つ目のメリットとして、太陽光発電をすることによって、ごみ箱自体で使う電力を自給自足できる点です。

しかし、デメリットもあります。それは価格が高いことです。25 万から 45 万程度と、とても高額です。しかし、多くの導入例では、会社と協賛し、広告を載せて、自分たちが負担する価格を抑えています。

日本でも、京都の嵐山や表参道、渋谷などで導入されています。

もう一つのごみ箱の設置の案として、ごみ箱を再利用して使う方法です。市で市民に呼びかけ、使わなくなったごみ箱を回収して、ロゴやマークなどの印やラッピングなどをしてほかのごみ箱と差別化したものを各お店に配る方法です。この方法のメリットとして、先ほどのスマートごみ箱よりも安価に済ませることができる点が挙げられます。デメリットは、ごみ収集やごみがあふれることが懸念される点です。

以上が吉祥寺のごみ箱設置に関する提案です。

● **10 番**（蝦名航太郎 君） 次に、歩行者や自転車が安全・安心して道路を利用できるようにすることを目的に、次のようなことを提案します。

まず、環境による事故の原因として、自転車専用道路の未整備などがあります。内容としては、車道、歩道との区別が曖昧で、車と接触してしまうといったものです。そのため、中央通りに自転車専用道路を整備することを提案します。なぜならば、中央通りは駅前で、車の交通量、歩行者の交通量も多く、平成 24 年度、25 年度のデータによりますと、中央通りでは、多いところで 12 時間に 1 万 3,268 台、1 時間で約 1,105 台の自動車が通行しています。道路交通法第 63 条の 4 第 1 項によると、普通自転車は道路の交通量が多い場合には歩道を走ってもよいとされていますが、三鷹周辺は歩行者も多く、自転車が歩道に入ってしまうと、歩行者と自転車との接触事故が起きるリスクが高まってしまいます。そのため、自転車専用道路の整備が必要です。

土地については、車道、歩道をそれぞれ幅を少しずつ小さくし、できたスペースに自転車専用道路を整備します。都道 121 号、中央通りは、もともと歩道、車道が少し広いため、少し小さくしても影響はないと考えられます。自転車専用道路を整備することによって、車道や歩道とはっきり区別をすることができるようになるため、歩行者や自転車との接触事故が起きるリスクを減らすことができます。

次に、都道 7 号の西久保 3 丁目辺りの交差点の歩道の片側が極端に狭いため、反対側の歩道を少し減らし、道路をその減らした方向に少しずらし、短いほうの歩道の幅を広げることを提案します。

都道 7 号は、自転車の交通量が多く、自転車で通行する際に、自転車道路の未整備が原因で事故が起こってしまうリスクが高く、片側が極端に狭いため、歩行者が使用しづらい、また、一時的に自転車が歩道に入るだけで道を封鎖してしまって、歩行者が通行することが難しいです。道路構造令によりますと、原則 2 メートル以上、片側 1 メートル以上必要です。しかし、都道 7 号の西久保 3 丁目辺りの交差点の南側の歩道は、現状 1 メートルありません。そのため、反対側の歩道の幅を減らし、道路をその減らしたほうへずらし、短いほうの道路の幅を広げるべきです。現状、北側の歩道は広く、スペースに余裕があるため、北側の歩道の幅を少し短くし、南側の歩道の幅を長くすることで、先ほど述べた問題は改善でき、車道の幅を変えることもないので、影響はないと考えられます。

現在、都道 7 号線は工事をする計画があり、一部立ち退きが完了していますが、工事は立ち退きが終わらないとできないため、何年かかるか分かりません。しかし、事故がその間に起こってしまう可能性はかなり高いです。もし事故が起きれば、最悪の場合は命が失われます。失った命は取り返しがつかない。だからこそ、特に事故が起きる可能性が高い場所は今すぐに改善すべきだと思います。

このほかにも、武蔵野市には中央公園の前の通りなど、幅が狭かったり、交通量が多いのにきちんとした自転車専用道路がなかったりする場所があります。市民の安全を守り、これらを改善するために、まずはこの案を先例としてぜひ実行していただきたいです。

以上で交通に関する提案を終わります。

御清聴ありがとうございました。（拍手）

● **19 番**（橋本しげき 君） 橋本しげきでございます。

ただいまの佐藤恒慈議員と蝦名航太郎議員の御質問、御提案にお答えをいたします。大きく 2 点の御質問をいただいておりますが、いずれもよく調べた上での具体的な御提案となっております。大変すばら



第四中学校発表



第四中学校への答弁 橋本議員

しいと思いました。これらの御提案にお答えをいたしたいと思います。

大きな１点目は、吉祥寺のごみ箱設置についてです。まちなかにごみがポイ捨てされているのを見ると、私も大変悲しい気持ちになります。

御提案の１つ目は、吉祥寺の店同士で提携してもらい、ごみ箱を設置してもらおうということです。その際、提携店のごみをどこの提携店でも捨てられる、捨てるたびにポイントを付与し、提携店のサービスや商品、クーポンなどと交換できるようにするというものです。まちのにぎわいであるとか、それから商店街の発展であるとか、そのためにいろいろなお店が提携していろいろ行うということは、大変よいアイデアだというふうに思っております。現在、歴史的な経緯もあって、まちなかにごみ箱はあまり見られない状況となっております。ごみは持って帰るという考え方の下、市民のモラルに依拠しているという状況だと思っております。

ごみ箱を設置する場合には、ごみ箱を置く場所の確保が必要になります。また、ごみの分別の徹底であるとか、ごみの回収をどのようにするかというような課題がありますが、これらはいろいろ知恵を出せば何とかなるであろうと思います。ごみを捨てる際のルール、家庭ごみを持ち込まないとか、そういうことも、多くの人が守るという自覚も必要だというふうに考えております。

どういう仕組みがいいのかというのをよく検討する必要があると思うのですが、このポイントの付与なのですが、ごみを捨てることでポイントを付与するということは、なかなかいいアイデアかと思いますが、ただ一方で、ごみを捨てることでポイントがたまっていくということで、ごみを捨てることを奨励することになってしまって、ごみが増えてしまうのではないかとということも一方での懸念があるのではないかなと思っておりますので、これはよく検討して、どういうやり方がいいのかということを考えるということだと思います。

まち全体でごみを減らそうという取組を武蔵野市はやっておりますが、そういう中で、ごみを減らすということと、それからポイ捨てをなくすということ、それからこのポイントのいろいろなアイデアですけど、これがどう両立するのかということをぜひ知恵を出して考えていければと思います。私自身は、ごみ箱がまちの中に一定あったほうが便利だなというふうに思っておりますので、どういうことが可能かということはぜひ検討が必要かなと思っております。

それから２つ目は、設置するごみ箱についての提案であります。SmaGOを設置する、または使わなくなったごみ箱を再利用するとか、いろいろな提案があるのですが、私がいいと思ったのは、その提案に対してメリットとデメリットを出して、比較をして、多面的な視点を持って提案されているということです。これは大変いいなというふうに思いました。

今いろいろな新しいごみ箱が開発されていると思うのですが、ごみ箱を設置するかどうかということと、



どういごみ箱なら可能かということは、これはお互いリンクしている話だと思っています。つまり、今までならごみ箱設置できそうにないと思っていたけれども、新しいこういうごみ箱なら設置できそうだというふうになれば、これはごみ箱設置できないという方針ではなくて、設置するという方針に変わり得るわけですから、そこは両方リンクしているので、設置するかどうかという議論と、どういごみ箱なら可能なのかという議論は、これは同時並行なのだろうなというふうに思っております。試しに部分的にやってみる、まち全体でやるのではなくて、まず部分的にやってみるというやり方もあるかというふうに思います。

それから、いろいろな課題があると思いますので、そこも含めてこれもよく議論して、先ほどのポイント、提携店の問題も併せて、まち全体がどうすればよくなるのかということを皆さんとよく議論する必要があるというふうに私も思っております。

それから大きな2点目は、交通安全についてです。歩行者や自転車が安心して道路を利用できるようにするというのを目的とした提案だと受け止めております。

1つ目は、中央通りに自転車専用道路を整備するということです。御指摘あったように、大変交通量が多い道路だというふうに思っております。安全な交通のためには、中央通りに限らず、自転車専用道路といますか、自転車レーンを設置していくということは必要な方向性だというふうに考えております。

ただ、どうしても現状の道路の幅から自転車レーンに必要な幅をどうやってつくり出すのかということが、これは現実的な課題ということになります。中央通りは一定の幅を持った道路だと思いますので、工夫ができないのかなというふうに私も思っております。ですから、これはよく検討をする必要があるのではないかなとも思っております。

御指摘いただいた、画面でも出していただいたのですが、あの部分は実は都道なわけです。東京都の管理している道路なので、東京都がやはり検討してもらわなければいけないということになります。ですので、ここは、武蔵野市も東京都に働きかけるということもできるかと思いますが、東京都ともやはり協力して、安全確保のために、自転車レーンなどを含めた検討を私も必要だというふうに思っております。

それから2つ目は、都道7号、これは五日市街道ですけど、その西久保3丁目辺りの交差点の歩道の片側が極端に狭いということで、反対側の歩道の幅を減らして、その減らした分を南側の歩道を増やすために使うという提案であります。なかなか大変ユニークなアイデアだと思ったのですが、これは、私もよく通る場所なのですが、通るたびにいつも狭いと思っています。非常に歩道が狭いので、もう1人通ったら行き交うのが大変なのです、あそこの場所は。あそこは非常に狭い場所だというふうに私も認識しています。何とかならないかと、いつも通りながら思っているわけなのですが、そういう混雑をするところと。御指摘あったように、道路の拡張のための土地確保が行われておりますけど、一定の時間が



かかるだろうということです。

あそこの五日市街道の交差点の部分は、東から西に向かう、つまり、吉祥寺方面から武蔵境方面に向かうところは、2車線のところは、交差点のところは3車線になるのです、右折レーンが発生しますから。そうすると、車が3台並ぶための幅が必要になっていると。西から東、つまり武蔵境方面から吉祥寺方面へ行くときは交差点は2車線なのです。あそこは左折レーンがないので、だから、3車線と2車線が交差点でぶつかっているというところなのです。ですので、ちょっと車線の数が違うところをうまく通さなければいけないというところになっております。

現状真っすぐな道路が、北側の歩道を削って南側に持ってくると、道路の形態がちょっとゆがみますよね、多分。真っすぐではなくて、ちょっと北側に、山といふかな、ちょっとゆがむ感じになるのではないかなと思うのですが、そこも含めて、どういうやり方がいいのかというのは、あそこも都道ですから、これはやはり東京都に考えてもらわなければいけないというふうに思っております。

やはり道路をどうするかというのを考えるときは、歩行者にとってどうか、自転車にとってどうか、自動車にとってどうかと、それぞれの立場に立って総合的に考えることが必要だというふうに思っております。私も該当箇所は、先ほど言ったように非常に現状改善すべきだと思っておりますが、そもそも道路の幅が狭いところを歩行者、自転車、自動車にどう割り振るかという、そういうなかなか難しい問題になっておりますので、将来の道路計画も見据えて安全を最優先にしつつ、東京都にも考えてもらい、それから市としても都に働きかけて、いいやり方を探っていくということが必要だと思っておりますので、御提案の趣旨、つまり交通の安全という観点からの改善を私も検討すべきだと思っております。

以上で答弁を終わりますが、本日はまちのことをよく考えての御提案をいただきましたので、私たちもこれをしっかり受け止めて、今後に生かしてまいりたいと思います。大変どうもありがとうございました。

● 議長（木崎 剛 君） 第四中学校は、ただいまの一般質問に対する感想をお願いいたします。

● 9 番（佐藤恒慈 君） まずは、一中学生の意見に真摯に向き合ってください、ありがとうございます。具体的な意見というか回答をしてくださったことをとてもうれしく思います。そして、この貴重な議員の方に意見できる場を設けてくれたことを本当に感謝しております。未成年というあまり政治に関心がない世代なわけですが、より身近に感じる事ができて、とても楽しかったです。ありがとうございました。

以上です。

● 10 番（蝦名航太郎 君） 今回はこのような場所を用意していただき、ありがとうございました。実際に議会という場を体験することにおいて、とてもいい経験になりました。ありがとうございます。



11 番 福田惟仁 君



12 番 石井秀明 君

第3 一般質問 5. 公園、修学旅行、夜道と駐輪場について



●議長（木崎 剛 君） 次に、公園、修学旅行、夜道と駐輪場について、第五中学校、11 番福田惟仁議員、12 番石井秀明議員。

（11 番 福田惟仁君、12 番 石井秀明君 登壇）（拍手）

- 12 番（石井秀明 君） これから第五中学校からの提案を始めていきます。石井と。
- 11 番（福田惟仁 君） 福田です。
- 12 番（石井秀明 君） よろしくをお願いします。

第五中学校からの提案は3つあり、私からは、公園について、彼からは、修学旅行についてと、夜道と駐輪場についてを提案させていただきます。

まず私から、公園について、主に3つ提案させていただきます。

早速1つ目に、三鷹駅前の公園づくりを提案します。皆さんは、三鷹駅前にある、北村西望が作った世界連邦平和像を御存じでしょうか。私は、その像があることは知っていましたが、どのようなものなのか、詳しく見たことはありませんでした。しかし、この中学生議会という場を通して初めて世界連邦平和像を拝見させていただきましたが、とても迫力のあるすばらしい作品だと感じました。そこで、その作品を多くの人に見てもらいたいと考えたのが、この提案をした大きなきっかけです。三鷹駅前に公園をつくることで、武蔵野市の魅力が1つ増え、武蔵野市民の芸術への興味、関心を高めることができると考えます。また、三鷹駅前に公園をつくることによって、武蔵野市民が平和に親しむこともできるようになります。

北村西望の作った世界連邦平和像の台座には、第二次世界大戦で亡くなった470名余りの英霊と、中島飛行機の被爆者200名余りの精霊が祭られています。そのため、北村西望の作った作品の近くに公園を設置することで、一人一人が平和に関心を持つ機会が増えることが考えられます。

ほかにも、三鷹駅前に公園をつくることによって、帰宅困難者の対応がスムーズにできるといったメリットもあります。東日本大震災でJR関係の全ての電車が止まってしまったことは御存じでしょう。そのとき、通勤時間帯で帰宅困難者が多く発生してしまい、対応に困ったという話を聞きました。そこで、三鷹駅前に公園をつくることで、帰宅困難者を一時的に収容しておく場所になり、対応をスムーズに行うことができると考えました。私は、このような理由から、三鷹駅前に公園をつくることを提案します。

次に2つ目は、大きな公園づくりを提案します。前提として、武蔵野市は土地が少なく、新たな大きな公園をつくることは困難だということは十分に理解しております。その上で、私は、境浄水場の上に

蓋をして、その上の広大な土地を生かし、大きな公園づくりを提案します。

この地域の近くには、中央公園、そして小金井公園という大きな公園があります。そのため、この2つの公園で十分だと考えている方も少なくないと思います。しかし、それらの公園は大変混雑しており、私たち利用者としては、快適に過ごせる空間とは程遠い状態にあると感じます。そのため、境浄水場の上に大きな公園をつくることによって、人が分散し、誰もが快適に過ごせる空間がつけられると考えます。そのようなことから、私は大きな公園づくりを提案します。

また、境浄水場の上ということを生かして、熱中症対策のためのミストのある公園などといった、これまでの武蔵野市の公園とは違った特色のある公園づくりをしてみてもいいでしょうか。

最後に、私はバスケットコートのある公園づくりを提案します。私たちはバスケット部に所属しており、学校外でバスケットを練習する場所が少なく困っています。まず前提として、なぜ今、武蔵野市にバスケットコートが少ないのかというと、騒音問題が大きな要因として考えられると思います。それを踏まえた上でバスケットコートのある公園づくりを提案していきます。

まず1つ目は、高架下や大通り沿いにバスケットコートをつくるという案です。高架下は電車の通過音が響いてしまいます。また、大通り沿いは交通量が非常に多いです。そのため、そのような場所にバスケットコートをつくることで、騒音問題を軽減しながら利用者も楽しめる、そんな環境がつけられると考えました。

2つ目は、防音壁をつけたり防音フローリングをしたりするという案です。武蔵野市は余った土地が多くはないため、これまで提案してきた設置場所にはバスケットコートがつかないということがあるかもしれません。そこで、設置場所の工夫以外での騒音対策案を考えました。防音壁や防音フローリングの設備にはある程度の費用がかかりますが、私たちを含め、部活の生徒や社会人など、様々な人がバスケットコートのある公園を望んでいて、バスケットコートは需要が非常に高いです。そのため、少し費用がかかったとしても、実行する価値が高いことだと考えます。また、利用時間、ルール等の設定によっても、騒音問題を抑えることができます。このような提案を参考にして、バスケットコートのある公園をつくってほしいと心から強く思っています。

このように、私は、三鷹駅前の公園づくり、大きな公園づくり、バスケットコートのある公園づくりを提案します。この提案を参考にしてもらい、少しでも多くの点を実現していただけるとありがたいです。

● 11 番（福田惟仁 君） 私からは、長く、遠くへ行きたい修学旅行と、明るい帰り道や安い駐輪場について提案させていただきます。

まずは修学旅行に関する提案です。皆さんは、武蔵野市の修学旅行の行き先を御存じでしょうか。年度や日程によって異なりますが、一般的には京都、奈良、大阪などの近畿地方と長野、静岡、岐阜などの中部地方が挙げられます。近畿地方では、京都、奈良の歴史と大阪の USJ やグルメを体験し、中部地方では幅広い自然環境に触れています。

全国の学校で一定水準の教育が行われるように文部科学省が定めた教育課程の基準である学習指導要領によると、修学旅行の目的は主に3つあります。1つ目が、豊かな自然や文化、社会に親しむことの意義を理解する。2つ目が、日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考える。3つ目が、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養うです。このようなことは、国内の旅行だと、国内のことは学ぶことができず、それでは日本は世界に通用できません。グローバル社会の実現に向けて、様々な文化や社会人に触れ、広い視野を身につけることが大切です。修学旅行で海外へ行くことも、学習指導要領の修学旅行の目的を満たせるのではないのでしょうか。

また、2泊3日の日程が多いため、先ほども言ったような近畿地方や中部地方などの日帰り圏内へ訪れることが多いです。移動時間に縛られずに行き先を選ぶためにも、生徒が多くのことを学び、見聞を増やしていくためにも、修学旅行の期間をもっと伸ばす必要があると思います。



第五中学校発表



第五中学校への答弁 与座議員

次は、明るい帰り道と、安い駐輪場についてです。皆さんは、武蔵野市の夜を歩いていて暗いなど思ったことはありますか。私たち中学生は、部活の帰り道など、様々な場面で夜の道路が暗く感じるがあります。しかし、現在の武蔵野市は、LEDによる街路灯が十分に設けられており、その明るさは女性が1人で比較的安心して歩ける明るさの基準を満たしているそうです。これ以上街路灯を増やすと、明る過ぎて住宅の室内が見えやすくなったり、強い光が住宅の窓から入り睡眠の質を低下させたり、星空が見えにくくなる光害が発生したりする可能性があります。そのため、これ以上街路灯や装飾灯を増やすと市の立場では言えない状況かもしれません。が、市が設定してくれるならつけてもいいよという家庭があるかもしれません。設置場所を市民が提供してくれれば、電気代もかからないソーラーライトなどの設置を募集したりすることはできないでしょうか。

ほかには、個人個人が工夫をできるように、周りに迷惑がかからないようにすることで、生徒1人ずつということで、生徒一人一人に懐中電灯を配布すれば、近隣の方々にも迷惑がかからず、安心して部活や塾から帰れると思います。ネックライトやリュックに装着できるタイプのライトが望ましいと考えています。

予算の問題ですが、全校生徒に学習者用コンピューターの配布が落ち着いたと思うので、市民の安全・安心につながることに予算の使用を考えていただきたいと思います。

また、塾に行くときに自転車を利用している人も多いと思います。塾やクラブチームは2時間半ほど、多いところでは3時間ほど、土日では五、六時間ほどあると思います。しかし、多くの駐輪場は2時間までが無料となっています。保護者の方々が子どものために塾代を払っており、そこには駐輪場代が別にかかって負担が上乗せされています。そこで私は、駐輪場の無料の利用時間を広げたり、学生割などの制度を設けていただけると、とても助かります。

私たちは、これらの案を立案してまいりました。もちろん、実現するのはとても大変で、難しいことだと分かっています。それでも、やはり武蔵野市をよくしていくために、たくさんの方々にお手伝いをいただきながら、2人で一生懸命考えた案なので、ぜひ実現していただきたいと思います。

これで第五中学校の発表を終わります。ありがとうございました。(拍手)

● 18番(与座 武 君) それでは、我が母校、武蔵野市立第五中学校の優秀な後輩である福田惟仁議員と石井秀明議員からいただいた6点にわたる御質問に順次お答えをさせていただきたいと思います。

まず1点目は、三鷹駅前の公園づくりについてです。三鷹駅前の風景を思い浮かべながら聞いてください。

現在、三鷹駅北口ロータリー内は、バスやタクシー、そして一般車両の動線がふくそうしていること、歩行者経路と車道が交差していること、そして、一般車両の専用乗降スペースがなく、右側停車など危険

な道路内降車が発生しています。これらの課題を解決するために、現在武蔵野市では、三鷹駅北口駅前ロータリーの改修に向けた検討を進めています。

本来、駅前ロータリーは、駅を利用する人々が安全かつスムーズにバスやタクシーに乗り降りできるとともに、一般車両の一時的な停車や送迎にも安心して利用できるように設計されていなければなりません。

御提案の趣旨は、三鷹駅前ロータリーを改修するに当たり、世界連邦平和像を含んだ公園をつくることで、市民の方々に平和に関心を持ってもらうことや、大規模災害発生時に想定される帰宅困難者対策にも有効に活用できるのではないかと御提案と理解させていただきました。非常に先見性のある、示唆に富んだ御提案だと拝聴いたしました。

現在、この御提案の内容と同様な改修案で最終調整が進んでおります。その実現に向けて取り組んでいきたいと思っております。小美濃市長、有力な応援団が出てまいりましたので、ひとつよろしく願います。

2点目の質問は、大きな公園をつくることです。境浄水場の上に蓋をして大きな公園にすれば、快適に過ごせる空間ができるのではないかと御提案であります。非常に大胆かつユニークな発想だと感心して拝聴しておりました。

境浄水場の広大な土地の利用については、実は私も昔考えたことがあります。都内の下水道処理施設——水再生センターという言い方をするのですが——には、上部に蓋をして、公園やサッカー場、野球場に活用しているところも散見されます。それなら、境浄水場も可能なのではないかと考えました。しかし、浄水場と下水道処理施設との役割は根本的に異なります。浄水場の使命は、人々に最も大切な命の水を安全かつおいしく提供することにあります。ましてや、境浄水場は、微生物の働きを利用して水を浄化する緩速ろ過方式——これはゆっくりと水を砂の層に沈殿させてろ過していくという方式であります。その安全性確保は何よりも優先されなければなりません。正直申し上げまして、ただいま御提案いただいたことの実現は、法律的にも衛生管理上も不可能ではないかと認識を持っています。

しかし、今後、境浄水場の北側半分に高速ろ過方式——速いスピードで化学薬品を使ってやる処理方式です——高速ろ過方式によるプラントが建設されますので、大きな公園は無理にせよ、その周辺部分に、御提案のあった、熱中症対策のミストのある市民が憩える公園の提供を求めていくことは十分可能だというふうに認識をしております。

3点目の御質問は、バスケットコートのある公園づくりについてです。バスケットコートやバスケットゴールの設置要望は、これまでも多くの中高生からいただいていると聞いております。そして、なかなか設置できない理由は、御指摘のとおり、音の問題であります。

武蔵野市の公園は、面積が狭いことに加え、住宅地の中にある公園がほとんどで、近隣住民の理解を得ることが非常に困難であることが理由に挙げられます。ドリブルやシュートの音は、プレーヤーにとっては快感でしょうが、近隣住民にとっては不愉快な騒音でしかありません。バスケットコートがある公園づくりを進めていくポイントは、設置場所の選択と近隣住民の理解、これが全てだと認識しています。

御提案の中に、常に大きな音が発生している高架下や大通り沿いへの設置がありました。一考に値する御提案と受け止めました。そのほかにも、市立公園だけでなく、都立公園や学校の校庭、その他の公共空間への設置の可能性も考えられると思います。また、防音壁や防音フローリングの設置、そして、利用時間、ルール等の設定の提案も大切な検討要素だと考えております。

なお、武蔵野市は従前より特色ある公園づくりを進めてきました。プレーパーク、ドッグラン、ボール遊びができる公園、健康遊具がある公園、農業体験公園、水遊びができる公園などです。先ほど一中の皆様方から、屋根のある公園の御提案がありました。なるほどなと思って面白く聞いておりました。今後の課題だと思っております。



4点目の質問は、修学旅行についてです。御質問の趣旨は、海外への修学旅行はできないのか、実施期間を長くできないのかということであります。

まず、壇上で御指摘のあったように、世界で通用する日本人になるためには、様々な文化や社会人に触れ、広い視野を身につけることが大切であるとの御意見は、至極当然でもっともなことだと思っております。私が思うに――私が思うにですよ――真の国際人とは、自国の歴史や伝統、文化を深く理解していると同時に、相手の国の歴史や伝統、文化に敬意を払い、ここからがポイントです、そのバックボーン、背骨となる、相手が信じる宗教を理解し、許容できる宗教観を持っている人のことだと私は思います。将来、海外で活躍する人材になれるよう、今からきちんと勉強していただけるとありがたいなと、こんなふうに思っております。

さて、御質問の海外への修学旅行と実施期間についてですが、これは、学校長の判断ないしは校長会の判断により実施でき、期間も柔軟に対応できると聞きました。しかし、大切なことは、単なる物見遊山、名所旧跡を巡る観光旅行ではあってはならないということであります。平素の授業で取り組んでいる課題調査とか、平素から交流のある学校を訪問するとか、明確かつ具体的な目的が必要だと思います。また、現地での安全確保、親御さんたちの費用負担の課題、そして、市内6つの中学校との公平性も考えていかなければならないと思います。吉原教育長、そういうことでよろしゅうございますでしょうか。どうか御検討のほど、よろしくお願いいたします。

5点目、6点目の質問は、夜の道と駐輪場についてです。

まず、街路灯、装飾灯に関する基本的な現状認識は、福田議員と全く同様であります。しかし、部活や塾の帰り道が暗いと感じることがあるので、懐中電灯を配布したとの御提案であります。正直申し上げまして、夜間の道路照度については、十人十色感じ方が異なりますし、懐中電灯を配布する公益性があるのかが思案のしどころだと思っています。ふだんの生活の中で必要ならば、個人で購入するべきでしょう。しかし、公益性の観点から、防犯面のみならず、例えば大規模災害時、広域に停電が起こる可能性は否定できませんので、防災対策の一環として、付与の対象を検討することは十分あり得るのかなと考えております。

なお、本日午前中に緊急で追加質問がありました、設置場所を市民が提供してくれるなら電灯設置してもよいのではないかと御提案もいただきました。実は、私も市議会議員としてまちなかを歩いてみると、たまにこういう御提案をいただきます。そのときは、担当課につないで現地をきちんと調査してもらって、必要ならば電灯の設置ということを行っておりますので、今後そういうことがありましたら、また市役所のほうにもお声がけいただければいいのかなと、こんなふうに思っております。

最後に、駐輪場の無料の利用時間の拡大、学生割引についてです。

御提案の趣旨はよく理解できます。ポイントは、受益者負担と公益性の関係、また、属性による優位性をどう考えるかです。駐輪場は市民の皆さんの必要度が高いので、つまり公益性が高いので、誰もがいつでも使えるように設置しています。その上で、自転車を駐輪する人にどこまで負担を求めることが適切なのか、また、学生とか、乳幼児連れとか、高齢者とか、障害者とか、その人の属性に応じ、どこまで便益を図るのがいいのか、公平公正の観点も鑑み、熟慮する必要があるのだろうと思っております。

以上、答弁であります。なかなか鋭い質問の連続に、答弁書を書くのに非常に難儀をいたしましたけれども、大変楽しい時間を私自身過ごさせていただきました。ありがとうございました。お疲れさまでした。

● 議長（木崎 剛 君） 第五中学校は、ただいまの一般質問に対する感想をお願いいたします。

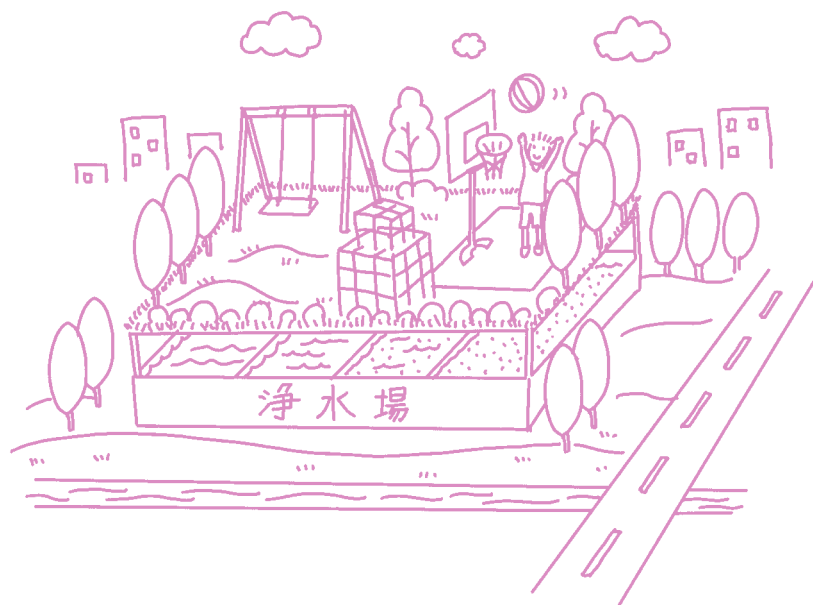
● 11 番（福田惟仁 君） 今回の中学生議会を通して、現在の武蔵野市の状況について考えることができました。提案の内容は、どれも実現に必要な費用などの規模がとても大きいものばかりです。実現することは難しいと思いますが、私たちが深く考え、まとめてきた案なので、これらの提案が現実となり、武蔵野市がよりよくなっていくことを心から願っています。ありがとうございました。

以上です。

● 12 番（石井秀明 君） 御回答ありがとうございました。まずは、今回中学生議会という場に参加させていただき、ありがとうございました。今回中学生議会に参加したことで、今自分の住んでいる武蔵野市はどのような状況にあるのかについて詳しく考えるきっかけとなりました。また、それと同時に、伝えたいことを伝える力や発想力について養う場になったと思います。

最後に、こういった場に立ち会えたことは数少ない貴重な経験になると思うので、今後に生かしていければと思います。改めてではありますが、本当にありがとうございました。

以上です。



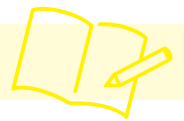


3 番 後藤可也子 君



4 番 高橋奏多 君

第 3 一般質問 6. 武蔵野市の魅力発信について



● 議 長（木崎 剛 君） 次に、武蔵野市の魅力発信について、第二中学校、3 番後藤可也子議員、4 番高橋奏多議員。

（3 番 後藤可也子君、4 番 高橋奏多君 登壇）（拍手）

● 4 番（高橋奏多 君） こんにちは。武蔵野市立第二中学校の高橋と。

● 3 番（後藤可也子 君） 後藤です。

● 4 番（高橋奏多 君） 私たちが住む武蔵野市、皆さんは、このまちにどのような魅力があると思いますか。私たち武蔵野市立第二中学校は、武蔵野市の魅力発信について考えました。武蔵野市にはたくさんの魅力がありますが、今回は発信する方法について着目して提案していきます。よろしくお願いいたします。

● 3 番（後藤可也子 君） 武蔵野市には多くの観光客が来ています。そして、約 10 年間で 87% も増えています。実際、武蔵野市にはたくさんの魅力があります。ですが、若い世代や外国人観光客にリーチした活動は少ないそうです。

そこで課題です。若い世代や外国人観光客により多くの魅力を知ってもらうこと、そして、観光客のリピート率を上げることです。多くの魅力を発信し、多くの人にもまた行きたいと思ってもらえるようにしていくことが大切だと考えました。

● 4 番（高橋奏多 君） 次に、この課題に対する解決策です。

1 つ目、SNS を活用することです。やはり若い世代が使うのは SNS です。SNS を使った発信のメリットは、多くの人に見てもらいやすいことです。そのため、SNS を活用することはとても大切だと考えます。

2 つ目、お勧めスポットマップの作成です。武蔵野市の魅力的な場所を中学生目線で分かりやすく 1 つにまとめます。

3 つ目、魅力発信新聞の発行です。SNS を活用することは大事ですが、紙だと、目につくところに掲示ができたり、配布することができます。上手に SNS と紙を使い分けていくことはとても大切です。

● 3 番（後藤可也子 君） では、具体的にどのような解決策なのか、提案していきます。

1 つ目、SNS の活用です。具体的には、公式Instagramの活用、公式 TikTok の立ち上げ、公式 X の活用です。

公式Instagramの活用はこのようなものです。ハッシュタグ武蔵野市、そして武蔵野市の魅力的な場所やお店の写真と一緒に一言コメントを書きます。このような投稿を 1 か月に 1 度、ブログのような形で投稿します。具体的な内容は、武蔵野市の隠れスポット、若者が行きたくなるような映えスポット、

武蔵野市らしさが伝わるものです。この投稿は、毎回公立の中学校でローテーションで行います。若者目線で紹介していくことがポイントです。さらに、様々な言語で投稿すると、ターゲットが若者だけでなく外国人観光客にも広がるため、よりよいかと考えます。

次に、公式 TikTok の立ち上げです。今から簡単に制作した動画を流します。このように、武蔵野市の魅力的な場所を 30 秒程度で紹介します。私は、特にプレイスなど、あまり知られていないけど特により場所を紹介していくとよいと思います。

● 4 番（高橋奏多 君） 次に、お勧めスポットマップの作成についてです。このように、マップ、お勧めスポットの情報、その場所の QR コード、お勧めポイントをまとめます。

実際に簡単に作ったものを紹介いたします。今回は吉祥寺駅東側、ヨドバシ裏エリアを紹介します。マップは、今回グーグルマップを使用しましたが、手作りのマップにすると、温かみがあり、よりよいものになると思います。

次に、お勧めスポットの情報です。今回はウッドベリーズというお店を例に紹介いたします。自家発酵の手作りヨーグルトと産直果物を使い、気持ちよさを感じられる生フローズンヨーグルト専門店、このように、2 文程度の紹介文を記載します。次に、その場所の QR コードです。さらにお勧めポイントを書きます。たくさんのフレーバーのフローズンヨーグルトがある、期間限定メニューがあるなど、お勧めのポイントを 3 つほど紹介します。ここで、いかにマップを見た人に行きたいと思ってもらえるかが重要になってきます。

作成したマップは、市の公式 SNS に投稿したり、市内のお店に掲示させていただいたり、市内の学校で配布したりできるとベストだと思います。ぜひ御検討よろしく願いいたします。

● 3 番（後藤可也子 君） 次に、3 つ目の提案、武蔵野市の魅力発信新聞の発行です。市内の中学校で応募を募り、実際に取材します。発行した新聞は、実際に市内のお店や学校で配布したいと考えています。

今からお配りする資料を御覧ください。今配ったこちらなのですが、これは簡単に私が作らせていただいたものなのですが、お店のホームページと、むさしの -FM を参考に作成させていただきました。このように、お店の紹介、そして実際に行った感想、取材内容などを掲載します。このような新聞を作ることで、よりたくさんの魅力を伝えることができると思います。

実際に取材する際は、中学生記者約 2 名、そしてカメラマンの方、中学生記者のサポートをしてくださる方の計 4 名で行えるとベストだと考えます。ぜひ御検討をお願いします。

● 4 番（高橋奏多 君） 最後にまとめさせていただきます。

これまで提案した案などで、武蔵野市の魅力をより若い世代や外国人観光客の方に知ってもらい、そして、中学生という若者目線で武蔵野市の魅力を深掘りし、広げていくことが重要です。ぜひ今回提案したものを御検討してくださるとありがたいです。

御清聴ありがとうございました。（拍手）

● 5 番（東山あきお 君） それではお答えをさせていただきます。

まず、テーマ全体につきまして、特に若い方、そして外国人向けに市の魅力を発信するというテーマ設定自体、個人的にはすばらしいなというふうに思いました。

本市は、住みよさランキングとか、毎度上位にランクインするほど、生活インフラの整備というものに尽力、フォーカスをしてきたと思いますけれども、これからの人口減社会には、そういう治安にも気をつけながら、こういういろいろな方に対して新たに稼ぐ手段を見つけていくというのは非常に重要だと考えておりますし、まだまだこういった観光で訪れていただける交流人口を増やしていくことは非常に重要だと思いますし、御指摘いただいた各種産業振興施策とか広報施策はまだまだ改善の余地があると思いますので、私も一個人として、一議員としてブラッシュアップさせていただいて、幾つか参考にして市長に聞いてみたいというようなこともございました。市長も、本当にうんうんとうなずいて皆さんのプレゼンを聞いており



第二中学校発表



第二中学校への答弁 東山議員

ましたので、きつといい答弁が返ってくるだろうなと思いながら、ぜひ期待していただければと思います。
一つ一つの政策についてでございます。

まず、公式インスタの活用につきまして、皆様視点だと、隠れスポット、映えスポット、武蔵野市らしさが伝わるものという3点を御指摘いただきました。これは本当にそのとおりだと思いますし、そういった視点を持って、広報課の皆さんには頑張っていただきたいなと思います。ただ、今も広報のプロからいろいろと指摘をもらってインスタグラムもどんどんよくなっていきます。ぜひ今のインスタグラムを見て、もっとこういったところを変えるべきではないかというような、比較をできるような提案の仕方だと、よりよいプレゼンになるのかなと思います。

あとはTikTokの立ち上げも、個人的にはこれは本当にすぐやるべきだなと思ひまして、立ち上げに関わるどういう課題があるのかというのは、ちょっと僕も聞いてみたいなと思います。もしプレゼンとしてもう少しよくするならば、ほかの自治体とか観光協会ではTikTokでどのような施策をやっているのか、今の武蔵野市の既存の施策ではこういう発信が足りないので、TikTokではこういうことを補うために発信をするのだというような御指摘をいただくとよりよいのかなと思っています。あと、今、一からこういうアカウントを育てていくのも結構大変だと思いますので、インフルエンサーとの連携だったりとか、そういったものも御提案の中に組み込むと、よりよいプレゼンになったのかなと思います。

お勧めスポットマップは、これもすばらしいと思いますけれども、観光機構さんも既に似たようなものもやっていらっしゃるの、一例としてウッドベリーズ・フロズンヨーグルト、これは本当においしそうだと思ったのですが、中学生の皆さん視点で、今の観光機構のホームページだったりマップはこういうところが足りないというところをもう少し御説明いただくとよかったのですが、ただ、これも本当にすばらしい御提案だと思いますので、僕も研究をしてみたいと思います。

3点目の中学生新聞、魅力発信新聞、こちらは大変参考になりました。課外授業として、もうすぐでできるのではないかなと思っていますし、学校間の交流が皆さん欲しいというようなことも前回の議会でもあったので、学校間の交流としても1つありなかなと思っています。これを基に、実際の市のSNS施策も、皆さんの御意見をもらって施策として展開していくというのもありなかなとは個人的には思いました。

また、これだとちょっとお金がかかってしまうので、このクオリティができるのであれば、ぜひ、今、もし御家庭でスマホとかネット環境がもしかしたら自由に使えないかもしれないのですが、SNSやブログは無料で始められるので、ぜひこれは自分で今すぐできるので、やってみてほしいなと思いました。それを各学校と一緒にやろうよというのは、本当にこれは公金を使わずとも皆さんでできると思うので、ぜひ期待をしたいなと思いますし、やっているうちに市から何か補助でも出るかもしれないので、ぜひやってみてほしいなと思います。



施策全体として言えるのですが、ただ、日本ってこういう武蔵野市みたいな魅力を持ったまちってたくさんあるので、競争がたくさんあるのです。なので、魅力を一方的に伝えるだけでは、なかなか観光客の方って来てくれないのではないかなと思ってまして、そういう若い方とか、外国籍の方ってどういうニーズがあるのかというのをもう少し深掘りして、プレゼンの中身に組み込んでいただくとすごくよりよかったなと思います。もう少しお時間があれば、外国籍の方へのインタビューとか、資料をあさってみて、外国籍の方が本当に求めているニーズって何だろうということを考えてもらおうと、プレゼントしてよりよいのかなと思います。

デービッド・アトキンソンという方が、安倍政権時代に観光施策の担当をしたときに、外国の方が日本に求めているものってということを調査したときに、自然、気候、文化、食事だよという、この4点だったのです。なので、その4点を基にした観光施策を展開したところ、すごく当たったところがあるので、ぜひ魅力を発信するだけではなくて、それを受け取る相手のニーズを考えると、よりよいプレゼンなるのかなと思います。

あとは、観光施策って、今オーバーツーリズム問題というものがあるって、観光施策を進めるのはいいのだけれども、それによって地域住民の生活や環境に悪影響を及ぼすという現象もすごく話題ですので、皆さん視点でそれを感じることがあるのか、対策はあるのかなども深掘ると、よりよい施策のブラッシュアップになるのかなというふうに思います。

いずれにせよ、本当に素晴らしい御提案でございましたので、引き続きいろいろなことを教えていただいて、市政を前に進めるためにお力を貸していただければと思います。

以上です。

● 議長（木崎 剛 君） 第二中学校は、ただいまの一般質問に対する感想をお願いをいたします。

● 3 番（後藤可也子 君） まず、御答弁ありがとうございます。私が気づくことができなかった新しい視点での意見を下さり、自分の視野が広がりました。そして、プレゼンの仕方とか、もっと深掘りしたらどうですかということも提案していただき、本当に私も勉強になりました。

本当にこのような機会を下さり、ありがとうございます。

● 4 番（高橋奏多 君） 今回、今日はこのように、学校以外でも自分の意見を発表する場を設けてくださりありがとうございます。ふだん、発表は学校の授業などで行うのですが、こういった外での活動というのはないので、すごく貴重な体験になりました。ありがとうございます。

そして、私たちの意見をよりよくするために、市議会の皆様がよく考えてくださって、とてもうれしかったです。私たちもこの武蔵野市にいることを誇りに思っ過ぎていきたいなと思いました。

今日は本当にありがとうございました。

● 議長（木崎 剛 君） 以上をもって一般質問を終わります。



川名議会運営委員長



ここで本日の提案の取扱いについて御報告いたします。

● **25 番**（川名ゆうじ 君） 中学生議員の皆様、どうもお疲れさまでした。議会運営委員長を務めています川名と申します。

今日は皆様の提案の答弁は、議会運営委員会の委員——後ろのメンバーですけども——中心に答えさせていただきました。全てというわけではないですけども、実現可能なことに対しては、我々議会運営委員会、そして皆さんの右手に今、今日いますけれども、市議会議員のみんながそこに座っていますけれども、議会全体として取り組んでいきたいと考えています。

今日の様子は、この後で議事録という形にして冊子にさせていただきます。これは皆さんにお届けするだけではなくて、校長先生ですとか関係機関にもお届けして、今日の記録を残していきたいと思っています。

皆さんの提案を実現するよう我々も努力していきますので、今後は皆様、市民の一員となって同じような活動を続けていっていただきたいと思います。

もう一つは、この議場、どうでしたでしょうか。とても広い場所だったかなと思いますけども、我々議員は、皆さんと今日行ったような提案を日々行っていますので、市議会にも今後も注目していただければと思います。

今日はどうもありがとうございました。

● **議 長**（木崎 剛 君） 以上をもって本日の日程は全部終了いたしました。

会議を閉じます。

これをもって令和7年第1回武蔵野市中学生議会を閉会いたします。

●午後 4 時 07 分 閉 会



副議長あいさつ

副議長 西園寺みきこ



皆さん、本当にお疲れさまでした。そして、傍聴においでいただいた皆さんも本当にありがとうございました。

まず、皆さんのプレゼンが非常にうまい。これが聞いていてとても分かりやすく、データもしっかりネットで調べたグラフを作って、プレゼンを作っていてすばらしい。そしてさらに、現場に行って、実際に行って、ごみが散らかっているとか、そういう公園の写真とか、現場に行って自分の生活のすぐ隣にある写真を撮ってプレゼンに入れ込んでいると。ネット上の話だけではなくて、身近な自分が生で体験していることを入れているというところが大変すばらしかったと、本当に上手だなというふうに正直思いました。

そして、最後の二中の、ミーティングのときにはなかなか苦戦しているかなと心配していたのですけれども、最後にこんな立派な隠し玉のようなレポートが出てきまして、すごいな、やるなというふうに思いました。

ぜひこういう場をこれから使っていただきたい。私たち受け止めた議会の側は、先ほどもありましたように、予算を伴うもの、伴わないもの、それから割とすぐできるなというものの、例えば給水マップづくりは早くできるかもしれません。それから、もうちょっと二、三年かけてしっかり実現させていくべきものはあります。それから、今すぐは無理なのだけど、じっくりやっていかなければいけないなという、都道の拡張の問題とか、それから法律に関わる広域的な問題、例えばJRの中のデジタルサイネージを使うというのは、武蔵野市だけの問題ではありませんので、東京都や多摩地域の皆さんと協力するということは大事かもしれない。そういうふうに、いろいろ皆さんからいただいた声を仕分しながら、これをどういうふうに取り組んでいくかなということを議会でしっかりやっていきたいなというふうに思います。

とてもよかったと思うのですが、皆さんにはぜひお願いしたいことがあります。それは、これから皆さんの長い人生の中で、そういうまちづくりを担う側というか、自分もその当事者になっていくこともちょっと考えていただきたい。例えば、ごみ箱の問題は、今日も複数の方が取り上げましたが、なかなか複雑なのです、歴史もあるし。増やせばいいってものでもないということなので、そういうごみをどうしたらいいかという仕組みづくりというのを考える勉強をしてもらったらいいなと、発明する側にもなってもらったらいいなって、そういうことをやっていただきたいなって思うし、それから、最後の観光、魅力発信だったら、ローカルメディアの仕事というのは結構世の中にあるのです。そういうローカルメディアの伝える側の人になるということも将来皆さんも検討してもらったら、担う側、まちづくりをする側になっていくことも考えていただきたいなと思いました。

ということで、昨年に続き2回目の中学生議会ができました。後輩の方にも、来年もやりそうだよということをぜひお伝えいただきたいと思います。

私からは以上でございます。どうも御苦勞さまでございました。



武蔵野市立第三中学校



気軽に利用できる設備の整った場所を

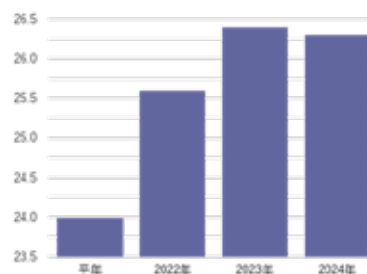
給水場所・楽器練習場所



給水場所



年代別夏季平均気温（6～8月）



給水ボックス

電話ボックスのような個室に
給水機を作る



設置場所





給水アプリ

どこに給水ボックス（給水機）があるかわかるアプリ



楽器練習場所



まとめ

熱中症対策になる給水BOX
個人練習のための楽器の練習場所

ご清聴ありがとうございました



1.ゴミ箱の設置 2.公園から公遠へ

武蔵野市立第一中学校

1.ゴミ箱の設置

- ・公園や公共の場にゴミ箱を設置する。
- ↳他にできれば駅の周りや、持ち帰りができる飲食店の近くにも設置。



テーマを設定した理由

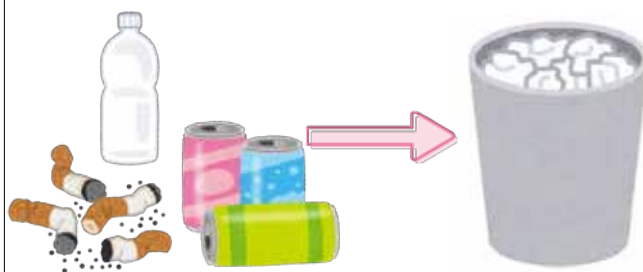
一日の乗降者数、なんと

23万人!



吉祥寺駅

その分出るゴミの量も多い、



2.公園から公遠へ (遊具の設置・屋根ありの公園を増やす)

- ・ユニバーサル遊具の設置

↳障がいがある人も楽しめる

- ・屋根がある公園

↳雨の日でも遊べる・雨の日にも犬も散歩できる

足が不自由でも楽しめる!



テーマを設定した理由①(ユニバーサル遊具の設置)

- ・ユニバーサル遊具が設置されている公園は武蔵野市の中で高架下公園の一つしかない!!



ユニバーサル遊具があれば障がいのあるなどに限らず楽しめる!!

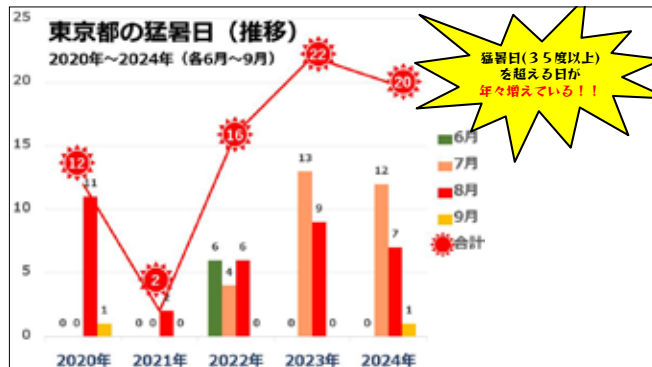
テーマを設定した理由②(屋根がある公園作り)

- ・屋根がある公園が少ないため雨の日は公園で遊ぶことができない！
- ・最近暑い日が続いているから屋根がないと熱中症になってしまう！

命に関わる！



屋根がある公園は、
ここのみ！
(中央高架上公園)



屋根あり公園は……

- ・公園の利用者が増える。
- ・雨天時利用できる。
- ・運動することで運動不足の解消。
- ・気軽に休めたりできるので熱中症の人が減る
- ・雨天時でも犬が散歩に行くことができる。



まとめ

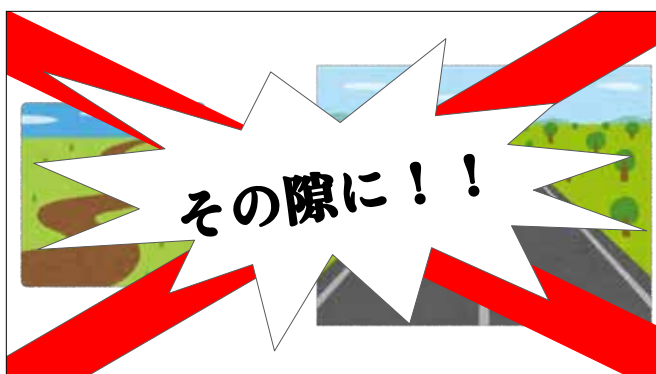
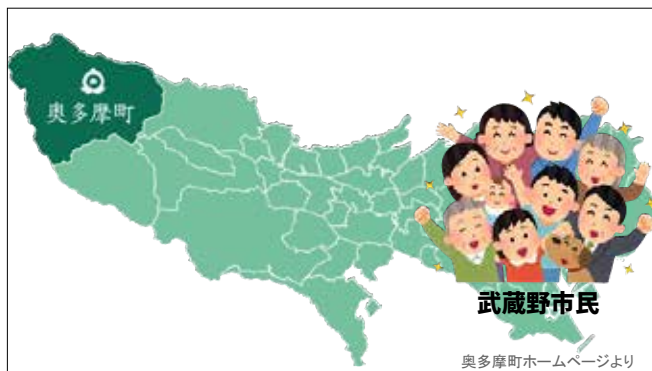
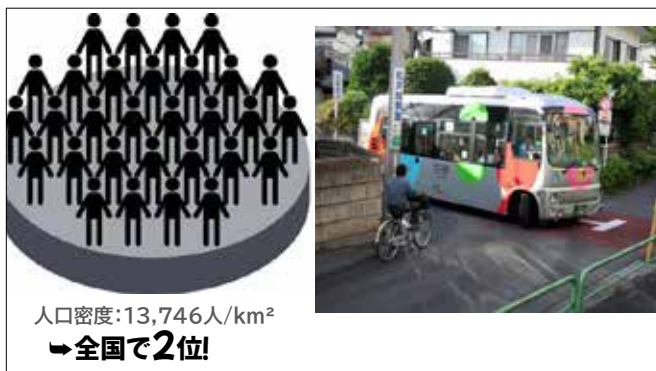
ゴミ箱の設置できれいな景観を！
「公園」をもっと広がりのある、「公遠」へ！
武蔵野市を、より魅力的な街に！

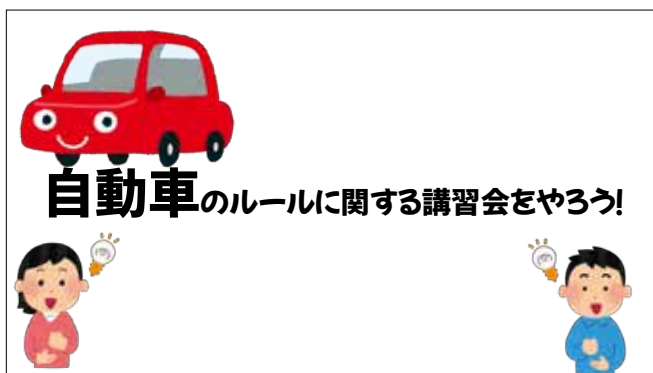
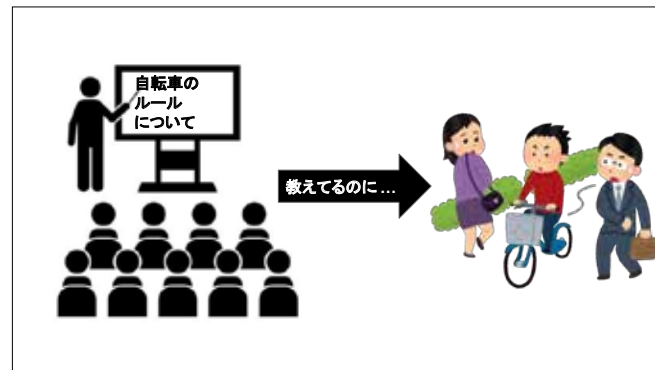
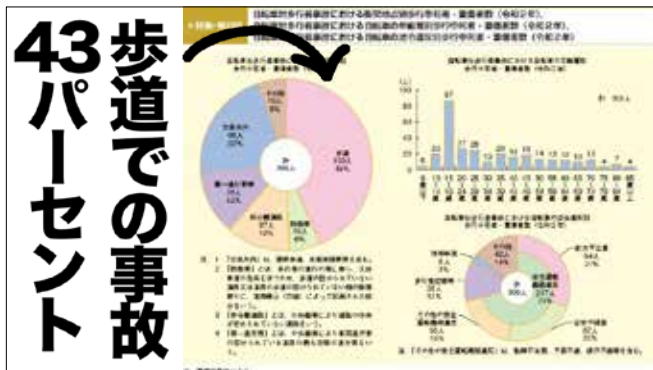




六中が問題視しているのは…

自転車と歩行者の間に起きるトラブル





＜武蔵野市自転車安全利用講習会＞

- ・2008年から毎年実施している
- ・警察署の方や専門家の方による講習会
- ・参加費無料
- ・インターネット申込可能
- ・来場者特典あり

【参考】武蔵野市ホームページ



周知の方法① 武蔵野市公式LINE

武蔵野市公式LINEでチャットボットで検索機能付!

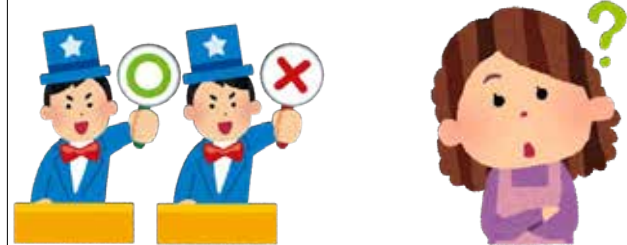
LINE



周知の方法② 電車の広告



電車内のモニターに、自転車や道路のルールについてのクイズ動画を流そう!



第六中学校の提案

- 小中学校で行われている出張講習会の内容に、自動車視点でのルールも加える
- 電車内のモニターに、道路交通法についてのクイズ動画を流す

ご清聴ありがとうございました





ゴミ箱設置と交通安全

第四中学校



吉祥寺

吉祥寺の



ゴミ



イメージ

市

初期費用の援助、制度の整備

店

ゴミ箱、サービスを利用

人

ゴミ箱を提供

提携店のメリット

- ・街が綺麗になる
- ・客足増加につながる

デメリット

- ・初期費用がかかる
- ・ゴミ箱の管理

利用者のメリット

- ・街が綺麗になる。
- ・お得にサービスを利用できるようになる

デメリット

特になし

環境による自転車事故の原因

- ・狭い道路、見通しの悪い交差点
- ・自転車専用レーンの未整備
- ・交通量が多い道路
- ・通勤通学の時間帯
- ・駐車車両の影

中央通りの交通量



都道7号線（五日市街道）の南側の歩道



都道7号線（五日市街道）の車線案





第五中学校

～公園・修学旅行・夜道と駐輪場～

①三鷹駅前の公園づくり

～北村西望・帰宅困難者～

「世界平和連邦像」北村西望作



②大きな公園づくり

～境浄水場～

③バスケットコートのある公園づくり

～高架下・大通り沿い・その他対策～

【修学旅行について】



【学習指導要綱】

- ・豊かな自然や文化、社会に親しむことの意義を理解
- ・日常とは異なる生活環境の中での集団生活のあり方や公衆道徳について考える
- ・新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養う

これらは外国でも満たせる！

【夜の道・駐輪場について】



・武蔵野市は街灯がLED
 ↓
 夜女性が安心して帰れる
 ↓
 十分に**明るい**
 ・私達中学生は暗く感じる
 ↓
 これ以上街灯を増やす
 ↓
 住宅に迷惑
 ↓
一人ひとりに懐中電灯を配布



二時間以上100円の駐輪場が多い
 ↓
 塾やクラブチームは2時間以上、
 土日では五六時間のところもある
 ↓
 駐輪場の料金を毎回払う
 ↓
 費用の負担が大きくなる
 ↓
学生割の導入



当日発表資料 第二中学校

第二中学校テーマ

「武蔵野市の魅力発信」

☆武蔵野市の観光客の増加

2015年 訪日外国人旅行者数は1974万人

2024年 推定3700万人



十年間で87%の伸び

実際、今の武蔵野市には...
たくさんの魅力がある



⇒しかし、若い世代や外国人など
新しい層にリーチしていない！

☆課題



・若い世代や外国人観光客により武蔵野市の魅力を
知ってもらおう

・観光客のリピート率を上げる

⇒「また行きたい！」と思ってもらおう



☆解決策

魅力の発信ツールの改善

- 1 SNSを活用する
- 2 おすすめスポットマップ作成
- 3 魅力発信新聞発行



1 SNSを活用する



- ・公式インスタグラムの活用
- ・武蔵野市公式tiktokの立ち上げ
- ・公式Xの活用、、、



○公式インスタグラムの活用

#武蔵野市 #井の頭公園

アヒルボートに乗り満開の桜を見ながらゆっくりしてみたいかですか？



月に一回ブログのような形で投稿

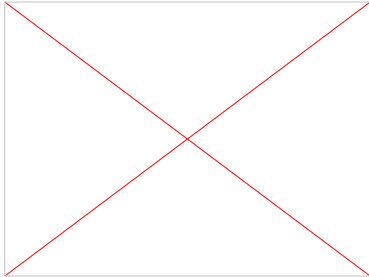
市内の公立中学校でローテーションし投稿する

〈内容〉

- ・武蔵野市の隠れスポット
- ・若者が行きたくなるような映えスポット
- ・“武蔵野市らしさ”が伝わるもの
(様々な言語で投稿する)



○武蔵野市公式tiktokの立ち上げ



2 おすすめスポットマップ作成

①おすすめスポット

①おすすめ
スポット情報

②その場所
のQRコード

マップ

③おすすめポイント

○おすすめスポットマップ

このなかから
おすすめスポットを
ピックアップ！



○ヨドバシ裏



①おすすめスポット情報

♡ ウッドベリーズフローズンヨーグルト

自家発酵の手作りヨーグルトと産直果物を使い

気持ちの良さを感じれる生フローズンヨーグルト専門店



②その場所のQRコード



③おすすめポイント

☆たくさんのフレーバーのフローズンヨーグルト！期間限定メニューもある。

☆フローズンヨーグルトだけでなく、飲むヨーグルトやパフェやランチもある！

☆ヨーグルトのコクや、本来のやさしい甘みを感じることができる！



3 魅力発信新聞

中学生記者が取材！



中学生記者の応募を募り、市内のお店で取材をする！

発行した新聞は市内のお店に掲示したり学校で配布する

まとめ

○SNSを活用したりして武蔵野市の魅力をより、若い世代や外国人観光客に知ってもらう

○“中学生”という若者目線で武蔵野市の魅力を深掘りし広げていく！



ご清聴ありがとうございました

引用

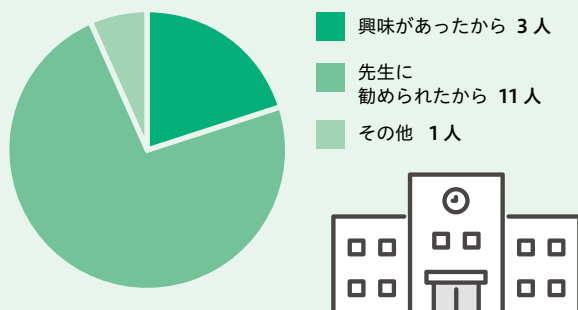
<https://www.woodberrys.co.jp/>

<https://petitmura.com/>

アンケート結果

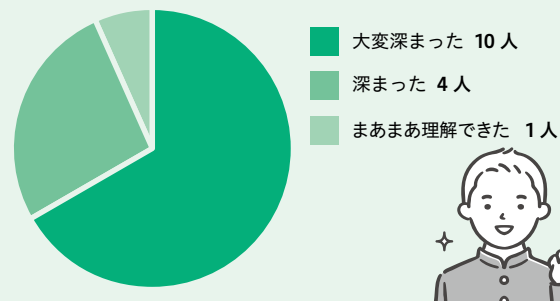
参加中学生アンケート回答

今回の中学生議会に
参加した理由を教えてください



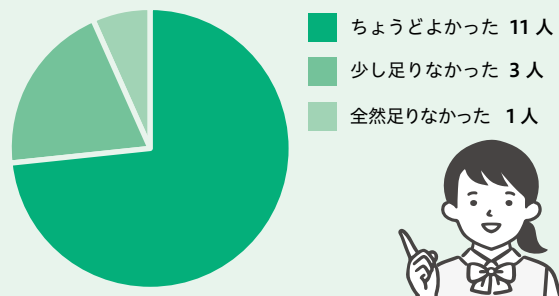
第1回、第2回ミーティングについて

① 議会クイズで武蔵野市議会について
理解が深まりましたか



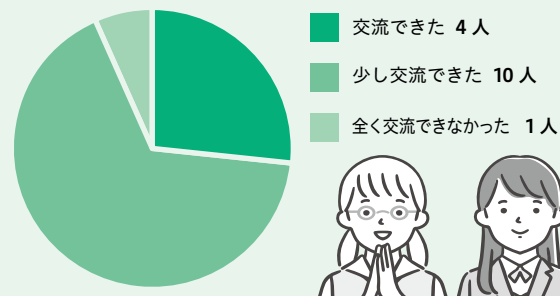
第1回、第2回ミーティングについて

② テーマや内容に関する話し合いについて、
時間は十分でしたか

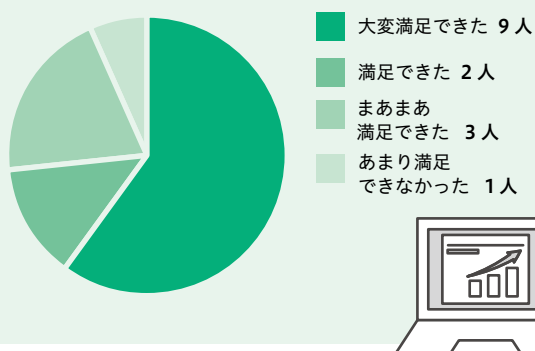


第1回、第2回ミーティングについて

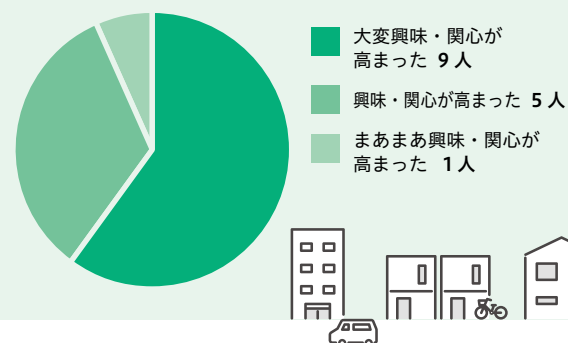
③ 他の学校とは交流ができましたか



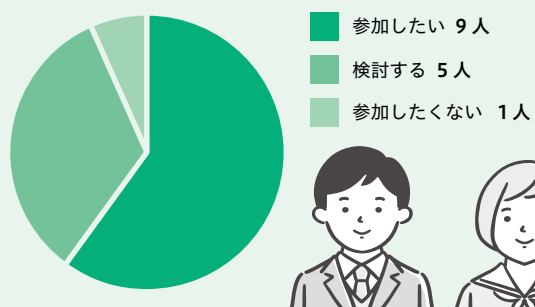
本番のプレゼンは満足できるものでしたか



今回の中学生議会に参加して、市議会への
興味・関心が以前に比べてどうになりましたか



今後も機会があれば、
中学生議会に参加したいですか



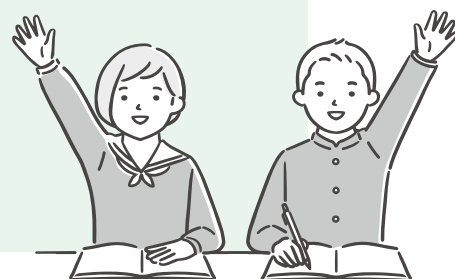
今後の中学生議会に対するご意見・ご要望を回答ください（自由記載）

- 発表の準備は大変でしたが、本番はとても楽しむことができました。
普段学校で発表するのとは全く違った雰囲気で、とても充実した体験をすることができました。ありがとうございました。
準備や発表の段階で、他の学校とも関わると面白いと思います。（他校同士でグループを組むなど）議会について知らないことを知れました。
- 十分よかったと思う。強いて言うならこれから意見が重複してくると思うから、年を重ねていったらなにか工夫が必要だと思う。また時代が変われば課題も変わるのでこれからも続けていってほしい。
- 普段交流することのない議員の方たちや他の学校の生徒たちと深く交流でき、とても楽しかったです。提案のアイデアを考える時間や他校との交流をする時間をもう少し取れたら、更に考えが深まったと思います。
- 中学生議会を通して、武蔵野市について詳しくなることができました。ぜひ今回提案したことをできるだけ多く実現していただけると嬉しいです。本日はありがとうございました。
- 実際にやってみて、資料を作るのが面白かったです。
武蔵野市のことを深く知ることができたり、実現しやすいものを考えたりできて楽しかったです。
学校で行う生徒会活動とは異なる活動を経験でき、勉強になりました。
次回は、私は高校生で参加できないため後輩をよろしくお願いします。
- 中学生としての意見を議員の皆さんも真摯に受け止める姿勢を見せてくださり、参加してよかったなと思いました。また、市への関心を深めることもでき、全体的にとっても有意義な時間にできました。
- 今回の二中のようにプレゼンに関係した出し物を出せば面白いと思いました。
面白いだけでなく、理解も深まると思うので良いと思います。
- 中学生の意見を尊重しているので良いと思う。
- 準備する場が、もう少しほしいと思います。
- もっと規模を大きくしてほしい。
国のことにも関わられるようにしてほしい。



市議会に対するご意見・ご要望を回答ください（自由記載）

- 思っていたよりも気さくで話しやすい方々で安心しました。
アイデアに対しても真摯に向き合ってくくださり、嬉しかったです。
- 市議会議員の皆様が親身になって寄り添ってくれたため、多くの発言をし、発表をよりよいものにできたと思います。市議会議員の皆様、本当にありがとうございました。
- このような機会を設けてくださりありがとうございました。
これからも子どもの意見を聞いてくださるとありがたいです。
- 議員さん同士での雰囲気良く、いい意味で緊張せずに意見を出せました。
- 特にはありませんが、市議会がいつもどんなことをしているのかを説明する会があったら興味が深まると思います。
- 特にない、満足しています。
- 満足しています。



アンケート結果

傍聴者アンケート回答

中学生が議員（大人）に対して、議場という公の場で自分の意見を述べている姿を見て、率直にすごいなと思いました。

「中学生『議会』」ということでしたので、中学生議員からの質問への答弁に対し、再質問があるとより充実したやり取りになるのでは、と思いました。ただ、ハードル（再質問するというプレッシャー）は上がるので、現状のままだと妥当かとも思います。

質問に対する議員の答弁で、「このような視点が不足している」、「このような視点があるとよりよくなる」といった、中学生のクリティカル・シンキングを促すような答弁は、質問をした中学生にとって非常によかったのではないかと、と思いました。一方で、表面的な印象を受けたものもありましたので、答弁者間である程度レベルの擦り合わせがあってもいいのではないかと、と思いました。

すごく立派だったと思いました。

武蔵野市について現状と期待する未来を深く考えて、まとめあげ、一般質問をする姿をみることで来て良かったです。

質問に対してさらに広い視点や詳しい内容まで調べ答えて頂いた議員の方々にも感謝します。

各中学の提案に対して、議員の皆様がしっかり調べて現実的に検討してくださっている姿に感激しました。子どもたちの意見にも真剣に耳を傾けていただけて、武蔵野市の未来がとても明るいと感じました。本日はこのような貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

各学校の中学生が武蔵野市をより良くするために様々な視点から考えた提案をしていて素晴らしいと思いました。中学生議会開催の大きな意義のひとつに、このように中学生の意見を市がきちんと受け止め、市政に反映する用意があるということを中学生が知ることだと思いますので、多くの中学生が傍聴に来てくれるように働きかけていただくと良いのではないかと、と思いました。

複数提案をしている学校が多かったですが、提案内容を深めるためにも、2つぐらいに絞って提案をつくってもらえるとよいのではないかと、と思いました。

中学生議会を発展させ、高校生議会も発足させ、選挙年齢引き下げにより、投票や選挙が目前になった高校生がこのような体験ができるとよいのではないかと、思います。また、提言についても、中学生よりさらに深く考えた提言を市政へ提供できる可能性があるのではないかと、と思いました。

中学生ならではの視点で各学校ごとに様々なアイデアがありその中で市政にも必要な内容もあり興味深かったです。また本会議場という場で、皆、堂々と発言している姿が頼もしかったです。

自分たちの発言が市政を変えられるかもという発想は選挙権をまだ持っていない子ども達が政治に興味を持つ一歩になったと感じました。

中学生がまちの課題に取り組み提言する様子が見られ、貴重な機会だったと思います。中学生が日々学校生活や日常生活で何に興味を持っているか、わかりました。多くの市民や市役所職員にも本日の議事内容を知ってほしいと思います。

中学生議員の保護者として傍聴させていただきました。

議会室に入れることに驚くとともに、中学生の意見を聞き、ひとつひとつに回答していて両者とも丁寧に真剣に過ごす時間を見て、日常では経験できないことを経験させてもらったと思いました。ありがとうございました。

関わってくださった皆様、ありがとうございました。前回よりも市全体に関わる意見が増え、この取り組みそのものの成長を感じることができました。

中学生からは自分たちの声を市議会に届ける場として、また、若者たちへ政治の関心を持たせる場としてもとても良い機会となったと思います。

第1回 ミーティング

令和7年5月28日(水) 議会委員会室

- 議会運営委員会委員の自己紹介
- 中学生議会の趣旨説明
- Gikai クイズ
- 中学生議員の自己紹介
- グループワーク
 - ・ 学校ごとに発表テーマの検討
 - ・ 他校との意見交換



Gikai クイズ
大盛り上がり！



他の学校の生徒と
意見交換中



第2回 ミーティング

令和7年7月9日(水) 議会委員会室

○ グループワーク

- ・ 学校ごとに発表テーマ決定
- ・ 発表資料作成



学習者用
コンピュータで
資料作り



中学生議員を見守る
温かいまなざし



当日の様子

令和7年8月17日(日) 本会議場



開会中は
緊張の表情



控室で待機中……

リハーサルでは、初めての本会議場に
ワクワク、ドキドキ



本番が終わり、笑顔でリラックス。
お疲れ様でした。



議員も一緒に
全員でパシャリ



令和 7 年度 武蔵野市中学生議会 会議録

令和 7 年 11 月発行

発行者	武蔵野市議会 180-8777 武蔵野市緑町 2-2-28
デザイン・印刷	株式会社 文伸 181-0002 三鷹市上連雀 1-12-17

